

令和4年度 国語「現代文B」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科、国際人文科 2年 1～8組
教科書	新編現代文B（東京書籍）	副教材等	最新国語便覧（浜島書店）・漢字ボックス（浜島書店）

1 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。「考える」ことの基礎的な方法を身に付ける。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	随想1 「さくらさくら さくら」	・随想を読んで、 筆者の考え方や 感じ方を的確に 読み取る。	・新しい発見や感動を 整理し、自分の興味が どこにあるかを理解 する。 ・本文全体を通して、 さくらについての日 本人の独特の感覚と 筆者の考えを理解す る。	行動の観察 記述の確認 定期考査
5	小説1 「ナイン」	・小説に描かれた 人物の心情や人間 関係を表現に即し て読み取る。 中間考査	・全体の語り手・登 場人物・話題の人物 という小説の基本設 定や、ストーリーの 「語られ方」を理 解する。 ・時代背景を想像し ながら、作中の時間 の経過や登場人物の 過去と現在の変化な どを理解する。 ・小説を通して、損 得を越えた人間関係 のあり方について考 えを深める。	行動の観察 記述の確認 定期考査
6	評論1 「ふしぎ」という こと	・評論文の文章 構成、展開、要旨 などを的確に捉え る。	・挙げられている話 題を関連付けて読み 取り、「ふしぎ」とい うことについて考え を深める。 ・文章の構成から、 筆者の考えの論拠と なる部分を読み取り 、言外に示された筆 者の主張を理解す る。	行動の観察 記述の確認 定期考査
7	詩 「一つのメルヘン」 他2編 短歌「信濃路」 他8首	・詩歌のそれぞれの リズムや表現の特色 を味わう。 期末考査	・詩の形式・種類・ 構成を理解する。 ・詩の持つ幻想的な イメージや、表現の 背後にある歴史的・ 社会的な出来事につ いて理解し、作者の 心情を想像する。 ・短歌独自のリズム を味わい、表現に即 して、作品に込めら れた作者の心情を読 み取る。	行動の観察 記述の確認 定期考査
9	随想2 「少女たちの『ひ ろしま』」	・筆者のものの見 方や感じ方、表現 の特色に注意して 読み味わう。	・戦時下に生きた人 々の日常と悲劇に思 いをめぐらし、時代 や社会について考 える態度を養う。 ・被爆死した女性 たちと筆者をつなぐ 「回路」の意味を捉 える。	行動の観察 記述の確認 定期考査
10	評論2 「思考の肺活量」	・表現に注意して 読み、提示された 問題を的確に把握 する。 中間考査	・比喩表現に注意 して内容を読み取り 、思考のあるべき姿 について理解を深め る。 ・筆者が述べる、「思 考」において「たい じなこと」を理解し 、正解がない問題に ついて考えを深める。	行動の観察 記述の確認 定期考査
11	小説2 「こころ」	・小説における場 面展開や、人物の 性格・心理の描写 を読み取る。	・日本近代文学や思 想に多大な影響を与 えた作者の歴史的価 値など、文学史的知 識を深める。 ・人間関係における 人物の心情を的確に 把握して、人の心の ありようについて考 えを深める。 ・明治以前の因習 や観念からの脱却を 試みつつも、自我に 捕らわれた登場人物 の苦悩を丁寧に追 い捉える、	行動の観察 記述の確認 定期考査
12		期末考査		

1	小説3 「山椒魚」	・寓話的な小説の世界を味わい、主題と構想とを探る。	・戦中・戦後と、一貫して庶民生活を温かく描いた作者の、文学的功績について知識を深める。 ・感傷を抑えた作者独自のユーモアとペースに富んだ文章を読み味わう。 ・山椒魚や蛙の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。	行動の観察 記述の確認 定期考査
2	働く喜び 「分からないからおもしろい」 「楽しく働くこと、楽しく働くこと」	・仕事に関する文章を読んで、仕事の持つ奥深さについて理解する。	・筆者の、仕事に対する姿勢がどのようなものを理解させる。 ・楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解する。	行動の観察 記述の確認 定期考査
3		学年末考査		

3 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
話すこと 聞くこと	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
読むこと	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
書くこと	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」, 「話すこと・聞くこと」, 「読むこと」, 「書くこと」, 「知識・理解」の5観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

現代文はすべての教科の基本となる教科です。課題や作品に積極的、主体的にとりくみ、感性を磨いてください。「考える」ことの「おもしろさ」に気付き、その基礎的な方法を身に付けてください。
--

令和4年度 国語「古典基礎」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年 1～7組
教科書	高等学校改訂版標準国語総合（第一学習社）	副教材等	最新国語便覧（浜島書店）・完全マスター古典文法（第一学習社）・イラストとシーンでおぼえるLOOK@古文単語337

1 学習の到達目標

高等学校の国語教育における基本的な知識を理解するとともに、国語を適切に表現し、意見を伝える力を養う。現代の文章や古典作品に触れ、それらを鑑賞する姿勢を養うとともに、主体的な学習の取り組み方を学ぶ。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	随筆『徒然草』 ある人、弓射る こと習ふに	・随筆を読んで、構成や表現の特色をとらえたり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりする。	・随筆を読んで、人間や社会などに対する作者の思想や心情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・助動詞・助詞などについて理解し、口語訳に生かす。	行動の観察 記述の確認 定期考査
5	動詞の復習	・文語のきまりを理解する。 中間考査	・動詞の活用を復習し、理解を深める。	行動の観察 記述の確認 定期考査
6	漢詩 『静夜思』 『香炉峰下新卜山 居草堂初成偶題 東壁』	・訓読のきまりを理解する。 ・長めの文章を読み、漢文の読解に慣れる。	・漢詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 ・中国の自然や、人間の心理が詩にどのようなように詠まれているかを考える。 ・漢詩のきまり（詩形・押韻・構成・対句など）について理解する。	行動の観察 記述の確認 定期考査
7	物語 『伊勢物語』 筒井筒	・物語を読んで構成を確かめ、文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 期末考査	・歌物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・助動詞・助詞などについて理解し、口語訳に生かす。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。 ・和歌を味読し、修辞技巧を理解する。	行動の観察 記述の確認 定期考査

9	史伝 『十八史略』 完璧	・訓読のきまりを理解する。 ・長めの文章を読み、漢文の読解に慣れる。	・比較的長い、平易な文章の漢文に慣れ、訓読のきまりについて確認する。 ・中国の史伝の特徴的な簡潔な表現を味わい、そこから生まれた故事成語・成句などを正しく理解する。 ・中国の歴史書の特質である文学性を理解し、思考力や批判力を養う。	行動の観察 記述の確認 定期考査
10		中間考査		
11	日記 『土佐日記』 門出	・日記文学を読んで、構成を確かめたり表現の特色をとらえたりする。 ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・助動詞などについて理解し、口語訳に生かす。	行動の観察 記述の確認 定期考査
12		期末考査		
1	中国の思想 『論語』	・文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、様々な文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。	・中国の思想を代表する儒家思想の概略を捉える。 ・『論語』における孔子の考え方を理解する。 ・孔子の思想が、現代においてどのような意味を持っているかを考える。	行動の観察 記述の確認 定期考査
2				
3		期末考査		

3 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
話すこと 聞くこと	
読むこと	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
書くこと	
知識・理解	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまりなどについて理解し、知識を身につけている。

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」・「読むこと」・「知識・理解」の観点から評価規準に従い、総合的に評価する。その際に、学習活動への参加姿勢や授業態度、ノート・プリント等の内容、定期考査や小テストの点数を用いる。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

「国語総合」では文字通り、現代文と古典を総合的に学んできました。「古典基礎」では古典に特化して、広く、さまざまな作品を読んでいます。まずは読解に必要な基礎事項（語句の意味・文法・古典常識など）を定着させ、自分で古典を読み味わう力をつけていきましょう。

その上で、古典をただの読み物として捉えるのではなく、現代と結び付けながら何かを学びとっていく姿勢で臨むと古典がより面白く感じるようになると思います。

令和4年度 地理歴史「世界史A」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 2年1～8組
使用教科書	明解世界史A（帝国書院）	副教材等	最新世界史図説タペストリー（帝国書院）

1 学習の到達目標

近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	1部 世界の一体化と 日本 1章 前近代の諸文明	序節 人類の始まり 1節 東アジアの文明 2節 南アジアの文明 3節 東南アジアの文明 4節 西アジア・北アフリカの文明 5節 ヨーロッパの文明 中間考査	人類の登場と、農耕・牧畜による食料生産を基礎にして、人類が文明を築き、歴史時代へはいつていくありさまを地域ごとに概観し、各地域世界が形づくられていく過程を理解する。 東アジア、南アジア、東南アジア、西アジア・北アフリカ、ヨーロッパの風土と諸民族、宗教などを通して各地における文明の特質を理解する。	・授業態度 ・出欠状況 ・ノートやプリントなどの提出状況 ・中間考査
6 7	2章 一体化に向かう 世界	6節 南北アメリカの文明 7節 ユーラシアの交流圏 1節 繁栄するアジア 2節 大航海時代と新たな国家の形成 期末考査	南北アメリカ大陸の風土と先住民にふれ、ヨーロッパが進出する以前の南北アメリカ大陸において独自の文化が築かれていたことを理解する。 ユーラシアの内陸及び海域のネットワークを背景に、諸地域間の交流が進み、ユーラシア規模の交流圏が成立していくようすを交易品などの事例を通して巨視的かつ視覚的に把握し、相互の文化受容の進展について理解する。 アジアのティムール・オスマン・ムガル・明・清などの諸帝国の政治と社会にふれ、この時期に安定した支配と経済の繁栄を背景に、文化も黄金時代を迎えたことを理解する。 ルネサンスと宗教改革、新航路の開拓などにふれ、16世紀頃から始まった世界の一体化への動きと新たなヨーロッパのわく組みとなった主権国家体制の形成について理解する。	・授業態度 ・出欠状況 ・ノートやプリントなどの提出状況 ・期末考査
9 10	3章 欧米の工業化と アジア諸国の 動揺	1節 ヨーロッパとアメリカの諸革命 2節 自由主義・ナショナリズムの進展 3節 アジア諸国の動揺 4節 東アジアの大変動 中間考査	アメリカ諸国の独立、フランス革命、産業革命、拡大する貿易活動などを通して、西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し、市民社会および国民国家の形成が進行したことを理解する。 19世紀後半のヨーロッパ、アメリカ社会を通して、自由主義とナショナリズムが進展していくようすとアメリカの発展について理解する。 オスマン帝国の弱体化やムガル帝国の崩壊などを通して、世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容など、アジア諸国の動揺のようすを理解する。 アヘン戦争やアロー戦争などの西洋の衝撃により、冊封＝朝貢体制に基づく東アジアの伝統的な国際秩序が崩壊していく過程を通して、ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況、半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、その中での日本の対応など、東アジアの大変動を理解する。	・授業態度 ・出欠状況 ・ノートやプリントなどの提出状況 ・中間考査

11	2部 地球社会と日本 1章 現代世界の芽生え と世界大戦	1節 現在につながる 社会の形成	交通革命、マス＝メディアの発達、企業や国家の巨大化、社会の大衆化と政治や文化の変容、公教育の普及と国民統合などを通して、20世紀という時代の特質を把握するとともに、欧米諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめぐる競合と人口移動から、世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解する。 第一次世界大戦と総力戦としての様相、ロシア革命、ソヴィエト連邦の成立、戦争と革命による国際秩序の変化、アメリカの大衆生活とその波及を通して、20世紀初頭の変化の様相を理解する。 インド・中東および東アジアの民族運動を通して、“民族自決”を求めたアジアのナショナリズムの動きを理解する。 第二次世界大戦の原因や総力戦として性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義などについて考察する。2部1章2節とあわせて20世紀前半の国際政治の流れを概観し、国際関係の変遷と社会の特質を理解する。	・授業態度 ・出欠状況 ・ノートやプリントなどの提出状況 ・期末考査
		2節 第一次世界大戦が もたらしたもの		
12	3節 民族自決を求めて	4節 経済危機から第二次 世界大戦へ 期末考査		
	1	2章 冷戦から地球 社会へ		1節 冷たい戦争の時代
2	2節 冷戦終結への道のり	3節 地球社会への歩み		
	3	4節 持続可能な社会を めざして	学年末考査	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
思考・判断・表現	世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
知識・理解	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

世界史を遠い国で起きた昔の出来事にとらえるのではなく、現在私たちが生きている社会と関連することとしてとらえてください。そして、「今」、世界で起きていることは目を向けてください。現在の社会の諸問題と歴史がつながるはずです。

令和4年度 地理歴史科「日本史A」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 2年 1～8組
教科書	日本史A 現代からの歴史（東京書籍）	副教材等	図説 日本史通覧（帝国書院）

1 学習の到達目標

- ・我が国の近現代の歴史の展開を国際環境や地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させる。
- ・近代の特色を大観的に捉えるとともに、諸資料を活用して歴史を考察し表現する能力を培う。
- ・各時代の特色とその変遷の考察を通じて、日本文化についての認識を深める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 近代日本の形成 1 国際情勢の変化と明治維新	1 アジア世界の変動 2 開国前夜の日本 3 ペリー来航と条約調印 4 幕末政争の展開 5 大政奉還と王政復古	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命の進展によってイギリスを中心に資本主義が急速に発展し、欧米諸国が18世紀以降にアジアに進出してきた背景を考察する。 ・ロシア・イギリスなどの外国船の来航と蝦夷地の動向やそれに対する海防論や幕府の対外政策の変化について理解する。 ・儒学と教育が普及し、国学と蘭学が隆盛し、封建社会の矛盾を打開・批判する政治思想が出現した因果関係を考察する。 ・商品経済の発達で村社会の変化をもたらし、貧富の差の拡大や飢饉を背景に百姓一揆や村方騒動が増大したことを認識する。 ・幕藩体制の動揺と内外情勢の緊迫の中で実施された幕政改革や藩政改革の評価と課題をまとめる。 ・ペリー来航から日米和親条約にいたる対外情勢の動向と幕府の対応の適否を考察する。 ・通商条約の締結に対する国内政局の動向と課題に注目する。 ・開港後の貿易が国内経済の混乱を招き、尊王攘夷運動の激化にも影響したことを理解する。 ・討幕運動の展開と幕府・諸藩・英仏など諸外国の相互の関わり方の因果関係を大観的に捉える。 	授業 観察 提出 課題 定期 考査
5				
6	第1章 2 明治新政府の諸改革	1 新政府の成立 2 身分制度の解体 3 地租改正と殖産興業 4 文明開化の社会 5 明治初期の外交と内政 6 北海道・琉球と国境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の滅亡から明治新政府の成立にいたる経過を読み解く。 ・版籍奉還・廃藩置県・四民平等政策などを通して明治新政府の政治理念を探究する。また、明治新政府の近代化政策とそれに対する民衆の動向に注目する。 ・文明開化の実態と民衆の生活・文化への影響を考察する。また岩倉使節団の派遣などを通して明治初期の外交課題をまとめる。 	授業 観察 提出 課題 定期 考査
7				
9	第1章 3 立憲国家の成立	1 自由民権運動と政府の対応 2 松方財政と民権運動 3 大日本帝国憲法の制定 4 初期議会と条約改正 5 国民文化の諸相	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民権運動が政府に何を求め、その結果どのような成果を得たのかを考察する。 ・大日本帝国憲法とそれに依拠した立憲体制の実態を分析する。また初期議会の動向と条約改正の成功を、当時の世界情勢に着目して考察する。 	授業 観察 提出 課題 定期 考査
10	第2章 東アジア世界の変動と日本 1 日清戦争と近代社会の確立 2 日露戦争と帝国日本の形成	1 帝国主義の時代と東アジア 2 日清戦争 3 日清戦争後の政治と社会 1 日英同盟と日露戦争 2 韓国併合と東アジア 3 産業革命と資本主義の発達 4 桂園時代と社会問題	<ul style="list-style-type: none"> ・日清戦争が近代日本にどのような影響を与えたかを、アジア世界の視点で捉える。また、日清戦争後の内外情勢の変化や日露戦争の対立の原因を広く世界の歴史に着目して考察する。 ・日露戦争の結果、日本は世界でどのような地位を占めるようになったかを分析する。 ・資本主義の発達が社会問題や労働問題を生んだ因果関係と政府の対応策を考察する。 ・伝統的な文化の上に欧米文化を取り入れて形成された近代文化の特色を、国家主義の浸透を踏まえて多面的に捉える。 	授業 観察 提出 課題 定期 考査

10	第3章 二つの世界大戦と日本 1 第一次世界大戦と帝国日本	1 第一次世界大戦と日本の中国侵略 2 パリ講和会議と東アジアの独立運動 3 大戦による社会の変化と独立運動 4 大正デモクラシーの思想と大衆文化 5 帝国日本と移動する人々	<ul style="list-style-type: none"> ヴェルサイユ講和条約からワシントン体制にいたる動向が世界に与えた影響と我が国の立場を多面的・多角的に考察する。 大正デモクラシーの意味とその展開過程を大観的に捉える。また、第一次世界大戦前後の国際情勢と我が国の対応の背景を分析する。 大正デモクラシー期の国民生活の実態を調査するとともに、現代と比較してまとめる。 	授業観察 提出課題 定期考査
11	2 政党政治の時代	1 政党政治と国際協調 2 関東大震災と社会の統制 3 護憲三派内閣と協調外交のゆきづまり	<ul style="list-style-type: none"> あいつぐ恐慌が日本の社会や政治の方向にどのような影響を与えたかを読み解く。また世界恐慌に対する我が国の対応策を世界と比較しながら多角的に分析する。 	
12	3 軍国日本への道	1 昭和恐慌と深刻な不況 2 満州事変と満州国 3 軍部の台頭と二・二六事件 4 日中全面戦争の開始 5 国家総動員の時代	<ul style="list-style-type: none"> 二・二六事件から日中戦争をへて国家総動員体制に至る過程を国民の視点で分析する。 第二次世界大戦の推移と日本の動向を日米関係に注目して理解する。また、アジア太平洋戦争の展開範囲を地図などの資料を駆使して読み解く。 	
1	第3章 4 太平洋戦争	1 第二次世界大戦と太平洋戦争 2 戦時総動員の徹底と矛盾 3 大東亜共栄圏 4 大日本帝国の崩壊へ	<ul style="list-style-type: none"> 日本の占領下のアジア各地の動向をアジアの人々の目線で捉える。さらに戦時下の国民生活の実情を、身近な人々からの聞き取りなどを通してレポートにまとめて発表する。日本の敗戦の経緯を考察し、年表などにまとめる。 	授業観察 提出課題
2				
3	第4章 第二次世界大戦後の国際社会と日本 1 現代世界の開幕と日本の戦後改革	1 大戦後の世界と日本 2 東アジアの再編と人々 3 本土占領と戦後改革の開始 4 日本国憲法の制定と戦後改革の開始 5 困難のなかでの開放感 6 再建と復興への道	<ul style="list-style-type: none"> 占領と日本国憲法の成立を学ぶ。 国内政治の民主化を学ぶ。 現代社会の問題と日本の果たすべき役割を考える。 	定期考査
	2 高度経済成長の時代	1 冷戦下の講和 2 保革の対立と55年体制 3 高度経済成長とそのひずみ 4 暮らしの現代化	<ul style="list-style-type: none"> 55年体制の成立の背景と安保闘争の意義を考察する。 高度経済成長の経緯をそのひずみにも着目して読み解く。 1970年代の日本の政治経済状況と世界情勢の動向を多面的に捉える。経済大国意識や行革路線が現代の社会に与えた影響にも着目する。 	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	歴史と現代との結びつきを考え、歴史を学ぶ意味に気づき、関心を持って主体的に学習に取り組んでいるか。
思考・判断・表現	日本の近現代の歴史の展開を、世界の歴史や国際環境等と関連づけて多面的に考察し、公正に判断しているか。獲得した知識や考察・判断を効果的に表現することができるか。
資料活用の技能	さまざまな資料から、有用な情報を適切に選択することができるか。得られた情報や資料を活用し、さらに活用する形での発展を発想できるか。
知識・理解	基本的な日本近現代史の歴史事項に関する知識を身につけ、各時代の特色を理解しているか。歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連づけて理解しているか。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

単に過去のできごとをとりあげるのではなく、それが現代までどのような影響を与えたのかも触れていきます。多種多様なアプローチから、歴史の展開を見ていきます。ですから、現代社会における時事問題にも常日頃から興味・関心を持って欲しいと思います。授業中だけでなく、さまざまな場面で学習したことを関連づけてとらえる発想を心がけて下さい。また、学習したことをより深めるためにも積極的に授業以外の場での活動等も試みて下さい。
--

令和4年度 数学「数学Ⅱ」シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	普通科 2年1～7組
教科書	東京書籍「新編数学Ⅱ」	副教材等	東京書籍「ニューアシスト数学Ⅱ+B」

1 学習の到達目標

いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数および微分・積分の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1 章 方程式・式と証明	1 節 整式・分数式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計算として、3次の展開と因数分解，整式の除法、分数式の演算について理解し、実際に計算をできるようにする。 	定期考査 授業での 行動観察 問題集 小テスト 課題プリント など
5		2 節 2次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・虚数単位iを導入することで数の範囲を複素数まで拡張し、その計算について理解する。 ・虚数解を含めた2次方程式の解法，判別式による解の分類や解と係数の関係を理解する。 	
5		3 節 高次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・除法の原理から剰余の定理，因数定理を導き、次数の高い因数分解をできるようになり、それを利用した高次方程式の解法を考察する。 	
5		4 節 式と証明	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一つの等式である恒等式について学ぶ。 ・条件がある等式の証明や比例式について、記述のしかたを含めて証明方法を理解する。 ・不等式の基本性質を確認し、いくつかの不等式の証明方法を考える。 	
6	2 章 図形と方程式	(中間考査)		
6		1 節 点と直線	<ul style="list-style-type: none"> ・直線上および平面上の2点間の距離や直線上の内分点・外分点，三角形の重心の意味とその座標の求め方を理解する。 ・直線の方程式の求め方を理解し、2直線の関係や点と直線の距離について考察する。 	定期考査 授業での 行動観察 問題集 小テスト 課題プリント など
7		2 節 円	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質から円の方程式を導き、さまざまな条件下で円の方程式を求めていく。 ・円と直線，2つの円の関係について、図形の性質と方程式の両面から考察する。 	
7	3 節 軌跡と領域	<ul style="list-style-type: none"> ・軌跡の意味を理解し，いろいろな条件下での軌跡の方程式を求める方法を考える。 ・不等式が図形では領域を意味することを理解し、直線と円を境界とする領域を考察する。 		
9	3 節 三角関数	(期末考査)		
10		1 節 三角関数	<ul style="list-style-type: none"> ・一般角や弧度法の考え方を学習する。 ・\sin, \cos, \tanをあらためて定義し，三角関数の性質や相互関係などについて理解する。 ・三角関数のグラフについて、その特徴や式との関係を理解してグラフの概形をかく。 ・三角関数を含む方程式や不等式の解法を、グラフとの関係を含めて理解する。 	定期考査 授業での 行動観察 問題集 小テスト 課題プリント など
10		2 節 加法定理	<ul style="list-style-type: none"> ・三角関数の加法定理を認識し，15° や 75° などの三角関数の値を求める。 ・三角関数の合成について理解し，グラフも活用しての最大・最小問題を考察する。 	
10	(中間考査)			

10	4章 指数関数・対数関数	1節 指数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・指数をまず整数範囲まで拡張し、さらに累乗根を定義して有理数の範囲まで拡張する。 ・指数法則を用いて、有理数範囲の指数や累乗根の計算をできるようにする。 ・指数関数のグラフを利用して、実数の大小比較や方程式、不等式を解くことができる。 ・新たに対数logの定義して、その性質を理解し、logを含む式の値を求める。 ・指数関数と関連づけながら対数関数のグラフを考え、その特徴と性質を理解する。 ・常用対数について理解し、自然数の桁数問題や具体的な事例への応用問題を考察する。 	定期考査 授業での 行動観察 問題集 小テスト 課題プリント など
11		2節 対数関数		
12		(期末考査)		
1	5章 微分と積分	1節 微分係数と導関数	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の平均変化率の極限值として、微分係数や導関数を定義する。また、グラフの接線の傾きと対比して、図形的な意味を理解する。 ・導関数を求める公式や計算方法を理解し、簡単な整関数の導関数を計算を行う。 ・微分法を用いて整関数のグラフの接線の方程式を求める方法を学ぶ。 ・関数の増加・減少と導関数の正負との関係を理解し、関数の増減と極値について調べる。さらに、それらを利用して関数のグラフの概形のかき方を理解する。 ・関数のグラフを利用して、関数の最大値・最小値や方程式・不等式への応用を考察する。 ・微分法の逆演算として不定積分を定義し、整関数の不定積分の計算について学ぶ。 ・さらに定積分を定義し、その計算を学ぶ。 ・2つの関数や直線が囲む部分の面積を定積分を用いて求める方法を考察する。 ・定積分と微分との関係を考え、簡単な積分方程式の解法を理解する。 	定期考査 授業での 行動観察 問題集 小テスト 課題プリント など
2		2節 導関数の応用		
3		3節 積分 (学年末考査)		

3 評価の観点

関心・意欲・態度	いろいろな式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数及び微分と積分における考え方や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。
数学的な見方や考え方	いろいろな式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数及び微分と積分における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考え、表現できる。
数学的な技能	いろいろな式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数及び微分と積分において、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、よりよく問題を解決できる。
知識・理解	いろいろな式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数及び微分と積分における概念や原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、数学的な見方や考え方、数学的な技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ

(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>数学Ⅱは全く新しい考え方や計算が出てきたり、今まで教わったことでもより高度な内容になって、難しく感じることも多いかもしれません。しかし、理系に進む人はもとより、医療系、経済学、栄養学、心理学、社会学、……など、すべての分野の基本となることがらがここに詰まっています。理系の人は科学的な考え方の基本を学ぶために、それ以外の人たちは今後困らないための知識を得るために、あきらめず、くじけずについてきてください。がんばりましょう！</p>

令和4年度 数学「数学B」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年1～7組
教科書	東京書籍「新編数学B」	副教材等	東京書籍「ニューアシスト数学II+B」

1 学習の到達目標

数列およびベクトルについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等		
4 5	第1章 数列 1節 数列	1 数列	<ul style="list-style-type: none"> ・数列の考え方および数列の基本的な用語や記号を理解する。 ・公差が一定の数列を等差数列と呼ぶことを知り、一般項 a_n を初項 a、公差 d を使って表す方法を理解する。 ・等差数列の和の公式の成り立ちを解説し、その活用法を考察する。 ・公比が一定の数列を等比数列と呼ぶことを知り、一般項 a_n を初項 a、公比 r を使って表す方法を理解する。 	定期考査 授業での 行動観察 問題集 小テスト 課題プリント など		
6		(中間考査)			5 等比数列の和	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など
7		2節 いろいろな数列			1 いろいろな数列の和と記号 Σ	
					2 階差数列と数列の和	
9 10	3節 漸化式と数学的帰納法 第2章 ベクトル 1節 平面上のベクトル	1 漸化式	<ul style="list-style-type: none"> ・数列の帰納的定義について解説し、一般項との違いについて理解する。 ・2項間のいろいろな漸化式から一般項を求める方法を考察し、解法の習熟を図る。 ・数学的帰納法による証明の有効性を説明し、その証明法に興味を持てるようにする。 ・数学的帰納法を用いた等式や倍数に関する証明法を考察する。 	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など		
		2 数学的帰納法			1 有向線分とベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの基本的な考え方を理解し、用語や記号に習熟する。

11	2節 ベクトルの応用	(中間考査)	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの加・減法，実数倍の表すことを理解し，線形性が成り立つことを確認する ベクトルの平行や分解について理解し，一次独立の考えについても解説する。 ベクトルを成分で表示することの意味を理解し，その良さと有効性を認識する。 ベクトルの内積の考え方や性質，さらに成分を用いた内積計算について理解する。 ベクトルの垂直条件や線形計算について理解する。 	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など
		2 ベクトルの加法 ・減法・実数倍		
12	2節 ベクトルの応用	3 ベクトルの成分	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルを成分で表示することの意味を理解し，その良さと有効性を認識する。 ベクトルの内積の考え方や性質，さらに成分を用いた内積計算について理解する。 ベクトルの垂直条件や線形計算について理解する。 	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など
4 ベクトルの内積				
		1 位置ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> 平面上の点の位置を表現としての位置ベクトルの考え方に興味を持てるようにする。 内分点，外分点，三角形の重心を位置ベクトルで表す方法を学び，位置ベクトルの考え方に慣れる。 	
		(期末考査)		
1	3節 空間におけるベクトル	2 ベクトルの図形への応用	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの考えを利用して，平面図形に関するいろいろな問題を考察する。 平面上の直線や円をベクトルを用いて表すことや，媒介変数表示についても理解し，図形のとらえ方の幅を広げる。 空間における座標を導入し，さらに座標平面に平行な平面について考察する。 空間においても，平面と全く同様に，ベクトルを考えることができることを理解する。 空間図形をベクトルでとらえるときも平面と同じように考えられることを理解し，ベクトルを用いることの良さを認識する。 	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など
		3 ベクトル方程式		
		1 空間座標		
		2 空間のベクトル		
		3 ベクトルの内積		
		4 位置ベクトルと空間の図形		
		(学年末考査)		

3 評価の観点

関心・意欲・態度	数列およびベクトルに関心をもつとともに，それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数列およびベクトルにおける数学的な見方や考え方を身につけている。
数学的な技能	数列およびベクトルにおいて，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。
知識・理解	数列およびベクトルにおける基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身につけている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度，数学的な見方や考え方，数学的な技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ

(確かな学力を身につけるためのアドバイス，授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

数列とベクトルは理系のどの分野に進むにしても必ず学んでおかななくてはならないことがらです。基本事項や公式を覚えたり，計算練習をするだけではそれを使って物事を解決していくことに活用できません。多少難しい内容にもチャレンジしていきますので，どのような問題にどう活かしていくのかを意識して，将来につながるような勉強をしていきましょう。
--

令和4年度 数学「表現数学」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年選択者
教科書	東京書籍「新編数学I」、「新編数学A」	副教材等	東京書籍「ニューアシスト新編数学I+A」 教科担当者作成プリント

1 学習の到達目標

数と式，図形と計量，二次関数およびデータの分析，場合の数と確率，図形の性質について理解し，自ら課題を発見し解決する力、他者に説明する力、事象を数学的に考察する能力をつちかい，それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5 6 7	数学 I ・数と式 ・2次関数 ・2次関数とそのグラフ ・2次方程式と2次不等式 数学A ・場合の数と確率 ・いろいろな確率 入試レベル問題演習	○以下の学習活動を通して、数学I、数学Aで学習した内容の発展した問題を解く。 ・個人で解く ・他者に自分の解法を説明する。 ・自分の解法を全体に発表する。 ○数学の過去問や赤本、既習事項を利用して問題を作成し、模範解答を作成する。 ○大学入試等の発展的な内容に取り組む。	発表 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
8 9 10 11 12	数学 I ・鋭角の三角比 ・三角比の拡張 ・三角形への応用 数学A ・三角形と比 ・円の性質 入試レベル問題作成・演習 数学 I ・命題と論証 ・データの整理と分析 ・データの相関 数学A ・整数の性質 入試レベル問題作成・演習	○以下の学習活動を通して、数学I、数学Aで学習した内容の発展した問題を解く。 ・個人で解く ・他者に自分の解法を説明する。 ・自分の解法を全体に発表する。 ○数学の過去問や赤本、既習事項を利用して問題を作成し、模範解答を作成する。 ○大学入試等の発展的な内容に取り組む。 ○以下の学習活動を通して、数学I、数学Aで学習した内容の発展した問題を解く。 ・個人で解く ・他者に自分の解法を説明する。 ・自分の解法を全体に発表する。 ○数学の過去問や赤本、既習事項を利用して問題を作成し、模範解答を作成する。 ○大学入試等の発展的な内容に取り組む。	発表 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など

1 2 3	入試レベル問題演習	○大学入試等の発展的な内容に取り組む。	
-------------	-----------	---------------------	--

3 評価の観点

関心・意欲・態度	数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析，場合の数と確率，整数の性質または図形の性質の考え方に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとする。
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数と式，図形の計量，二次関数及びデータの分析及び場合の数と確率における数学的な見方や考え方を身に付けている。
数学的な技能	数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析及び場合の数と確率において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
知識・理解	数と式，集合と論証，2次関数，図形と計量，データの分析及び場合の数と確率における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。

4 評価の方法

上の4観点と授業態度、授業内考査、小テスト、発表内容、課題等から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>表現数学は、ただ1年次の数学の授業をやり直す科目ではありません。数学Iと数学Aをより深く、幅広く学ぶ科目です。ですから、基礎的な問題や計算練習には多くの時間はとりません。それは自主的に学習して、自らできるように努力してもらいます。授業では基礎知識を活用する問題(いわゆる応用問題)を中心に解説します。入試問題も扱います。問題や課題に対して自ら考え、積極的にかつ地道に取り組むことが、内容を理解する上での最短の道になります。また、自分の解法や考えを他者に説明する習慣も身につけてください。知識や技法だけでなく、数学を理解するための方法や心構えも身に付けてほしいと思います。</p> <p>また、Classiを活用して演習や課題に取り組むこともあります。ログイン方法や課題の取り組み方になれておきましょう。この1年間で数学IおよびAの知識を確かなものに確立していきます。しっかり日頃の授業に取り組んでください。</p>
--

令和4年度 理科「物理基礎」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年2, 4, 5, 7組選択者
教科書	改訂 新編物理基礎 (東京書籍)	副教材等	改訂 ニューアチーブ物理基礎 (東京書籍)

1 学習の到達目標

<p>日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高める。 目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てる。 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。</p>
--

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
4	1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界	1速度	・変位や速度などの物体の運動の基本的な表し方について理解する。	行動観察 ワークシート分析	
		2加速度	・同一直線上を等速直線運動している物体の合成速度や相対速度について理解する。 ・物体が直線上を運動する場合の加速度について理解する。 ・(実験) 等加速度直線運動		小テスト 実験レポート分析
		3自由落下	・物体が空中を落下する際の運動の特徴、及び物体にはたらく力と運動の関係について理解する。		ワークシート分析
5		中間考査	教科書 p.10~33		
6	2章 力と運動の法則	1力のつり合い	・物体にはたらく様々な力をベクトルで表す方法を身につけるとともに、それらの力がつり合う条件を学ぶ。	行動観察 ワークシート分析	
		2力の合成と分解	・力の合成や分解をベクトルで扱えるようになる。		
		3運動の法則	・直線運動を中心に慣性の法則、運動の第2法則、作用・反作用の法則について理解する。		ワークシート分析
7		4摩擦、液体や気体から受ける力	・摩擦力、及び液体や気体から受ける力(圧力、浮力、抵抗力)について理解する。 ・(実験) 浮力の測定	行動観察 実験レポート分析	
		期末考査	教科書 p.34~65		
9	3章 仕事とエネルギー	1仕事	・仕事の定義、及び仕事の原理と仕事率について理解する。	ワークシート分析	
		2仕事とエネルギー	・仕事をする能力としての位置エネルギーと運動エネルギーの表し方について理解する。	ワークシート分析	
		3力学的エネルギーの保存	・力学的エネルギー保存の法則とその適用条件について理解し、この法則を用いている様々な運動を分析できるようになる。	行動観察 小テスト	
10	2編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱	1熱と温度	・原子や分子の熱運動と温度との関係を定性的に理解する。 ・物質の三態変化、絶対温度、及び潜熱(融解熱、蒸発熱)について理解する。	ワークシート分析 行動観察	
		2物質の三態	・熱量、熱容量、比熱、及び熱量の保存について理解し、熱を定量的に扱えるようになる。 ・仕事と熱の変換、内部エネルギー、及び熱力学第1法則について学び、熱現象とエネルギーの関係について理解する。 ・(実験) 比熱の測定	ワークシート分析 ワークシート分析	
		3熱と仕事	・熱機関とその熱効率、及び熱現象の不可逆性について学ぶ。	実験レポート分析 行動観察 ワークシート分析	
		中間考査	教科書 p.66~p.81、p.96~107		

11	2章 波	1 波と媒質の運動 2 波の伝わり方 3 波の性質	<ul style="list-style-type: none"> 波の基本的な性質を理解し、波の波長、振動数、波の伝わる速さなどを定量的に扱えるようになる。 横波と縦波の違いを理解する。 波の独立性、重ね合わせの原理、反射について観察や作図を通して学び、定常波ができるしくみについて理解する。 音波の性質として、うなり、固有振動、共振、共鳴などを学び、身近な楽器の原理について理解する。 (実験) 気柱共鳴実験 	<p>行動観察</p> <p>ワークシート分析 ワークシート分析</p> <p>行動観察 ワークシート分析 実験レポート分析</p>
		期末考査	教科書 p.110~132	
1	3章 電気	1 電気の性質 2 電流と電気抵抗 3 電気とエネルギー 4 電流と磁界	<ul style="list-style-type: none"> (演示実験) 静電気 帯電の仕組みを理解する。 電流の性質・抵抗の性質を理解し、回路を流れる電流の性質について理解する。 電流のエネルギーについて、電力と電力量を計算で求められるようになる。 右ねじの法則を学び、電流による磁界について理解する。 電流が磁界から受ける力について学び、モーターの原理を理解する。 	<p>行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析</p> <p>行動観察 小テスト</p> <p>ワークシート分析</p>
2				
3	4章 エネルギー	1 エネルギー資源と発電	<ul style="list-style-type: none"> 原子力発電や医療などにおける放射線及び原子力の利用とそれに伴うリスクについて、具体的な事例に触れながら理解を深める。 	ワークシート分析
		期末考査	教科書 p.134~p.160	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
思考・判断・表現	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>現象と式、式と現象を結びつける論理的思考を一緒に身につけていきましょう。</p> <p>まわりの人と協力して難しいことを理解しようとする姿勢や、あきらめない気持ちが大切です。</p> <p>復習を必ず行いましょう。</p> <p>持ち物 教科書・副教材 (改訂 ニューアチーブ物理基礎)</p>
--

令和4年度 「生物基礎」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年 1～7組
教科書	改訂 高等学校 生物基礎 (第一学習社)	副教材等	ニューステップアップ生物基礎 (東京書籍)

1 学習の到達目標

生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 生物の特徴 1. 生物の多様性と共通性	①生物の多様性 ②生物の共通性と多様性の起源 ③生物の特性 ④細胞の多様性 ⑤細胞の構造にみられる共通性	<ul style="list-style-type: none"> ・生物は進化の結果、生物は多様であることを理解する。 ・生物が共通にもつ特徴を理解する。 ・細胞には原核細胞と真核細胞があり、さまざまな大きさや形のものがあることを認識し、単細胞生物、多細胞生物の特徴を理解する。 ・身近な原核生物と真核生物を顕微鏡で観察する。 ・真核細胞において、細胞小器官の構造と機能の概要を理解する。 	行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析 実験レポート分析 ワークシート分析
5	2. 細胞とエネルギー	①代謝とATP ②光合成 実験 葉緑体と光合成 ③呼吸 ④ミトコンドリアと葉緑体	<ul style="list-style-type: none"> ・代謝には同化と異化があり、ATPが関わっていることを理解する。 ・光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、有機物を合成する過程であることを理解する。 ・葉緑体と光合成の関係について、実験を行い、確認する。 ・呼吸は、酵素の働きによってATPがつけられる過程であることを理解する。 ・共生説の考え方を理解する。 	行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析 実験レポート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
中間考査			教科書 p 21～75	
6	第2章 遺伝子とその働き 1. 遺伝現象と遺伝子	①遺伝子の本体—DNA ②DNAの構造	<ul style="list-style-type: none"> ・ヌクレオチドの構造および、塩基の相補性にもとづくDNAの二重らせん構造について理解する。 ・身近な材料を用いて、DNAを抽出する。また、染色してその存在を確認する。 	ワークシート分析 行動観察 実験レポート分析 ワークシート分析
7	2. 遺伝情報の複製と分配 3. 遺伝情報とタンパク質の合成	①細胞周期 ①タンパク質 ②タンパク質の合成 ③遺伝子とゲノム ④細胞内での遺伝子の発現	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解する。 ・タマネギの根端を用いて、細胞分裂の各段階を観察する。 ・タンパク質の働きや構造などを理解する。 ・酵素の基本的な特徴について理解する。 ・ダイコンに含まれるカタラーゼを用いて実験を行い、酵素の特徴を確認する。 ・転写と翻訳の流れを理解する。 ・遺伝子はゲノムの一部であることを理解する。 	実験レポート ワークシート分析 ワークシート分析 行動観察 実験レポート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
期末考査			教科書 p 76～136	
9	第4章 バイオームの多様性と分布 1. 生物の多様性とバイオーム	①バイオーム	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオームの概念を理解する。 	ワークシート分析 行動観察
10	2. バイオームの形成過程 3. バイオームとその分布	①植生の成り立ち ②さまざまな植生 ③植生の遷移 ①気候とバイオーム ②世界のバイオーム ③日本のバイオーム	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の階層構造を理解する。 ・光の強さと光合成速度の関係のグラフを理解する。 ・陽生植物、陰生植物の光合成速度の特徴を理解する。 ・植生は不変ではなく、長期的には移り変わっていることを理解する。 ・気温と降水量の違いによってさまざまなバイオームが成立していることを理解する。 ・世界のバイオームの種類と分布を理解する。 ・日本におけるバイオームの水平分布と垂直分布を理解し、各バイオームの特徴的な植物種を理解する。 	ワークシート分析 行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析 行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析
中間考査			教科書 p 205～249	

10	第5章 生態系とその保全 1. 生態系	①生態系の成り立ち ②生態系内の物質循環とエネルギーの流れ	<ul style="list-style-type: none"> 生態系の構成や食物連鎖（食物網）について理解する。 生態ピラミッドや物質の生産と消費の関係を理解する。 生態系内における炭素と窒素の循環を理解する。 植物が菌根菌と共生していることを確認する。 	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
11	2. 生態系のバランスと保全	①生態系のバランス ②人間活動による生態系への影響	<ul style="list-style-type: none"> 生物の個体数や量は、常に一定の範囲内で変動しながらバランスが保たれていることを理解する。 人間活動が生態系にさまざまな影響を与えていることを理解する。 外来生物の移入が在来生物に与える影響について理解する。 生態系を保全するために、さまざまな条約が締結され、それにもとづいた国内法が整備されていることを理解する。 	ワークシート分析 行動観察 ワークシート分析 行動観察 ワークシート分析 行動観察
12	3. 生態系の保全	①自然環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> 生態系を保全するために、さまざまな条約が締結され、それにもとづいた国内法が整備されていることを理解する。 	ワークシート分析 行動観察 ワークシート分析
期末考査			教科書 p 250～294	
1	第3章 生物の体内環境 1. 体液とその働き	①体内環境と恒常性 ②体液と物質の輸送 観察 血球の観察 ③肝臓の働き ④体液の濃度調節	<ul style="list-style-type: none"> 恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。 ヒトの血球プレパラートを用いて、血球を観察する。 心臓や血液循環の経路、肝臓、腎臓について理解する 単細胞生物や無脊椎動物、魚類の体液の濃度調節について理解する。 	ワークシート分析 実験レポート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
2	2. 生体防御	①皮膚の役割 ②免疫 ③自然免疫 ④獲得免疫 ⑤免疫に関する身近な疾患 ⑥免疫と医療	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚や上皮による生体防御について理解する。 免疫の概要を理解する。 アレルギーや自己免疫病、エイズなど身近な免疫に関する疾患の生じるしくみを理解する。 免疫のしくみを用いている予防接種や血清療法のしくみを理解する。 	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 行動観察 ワークシート分析
3	3. 体内環境の維持のしくみ	①自律神経系の構造と働き ②ホルモンによる調節 ③血糖量の調節 ④体温の調節	<ul style="list-style-type: none"> 動物の体液の濃度が、自律神経系とホルモンの働きによって調節されていることを理解する。 ホルモン分泌の調節のしくみについて理解する。 調べ学習と発表 	ワークシート分析 行動観察 ワークシート分析 行動観察 発表内容と発表
期末考査			教科書 p 137～204	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	生物や生物現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けているか。
思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できるか。
観察・実験の技能	観察・実験を行い、基本操作を修得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、生物や生物現象を科学的に探究する技能を身に付けているか。
知識・理解	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>高校の生物の学習では、主に生命現象を理解するために、DNA やタンパク質などミクロの世界の現象を扱ったり、一方で生態系など大きなレベルでの現象を扱ったりすることも多い。これらは、ともに目に見えるレベルでの現象ではないことが多いため、理解が難しいこともある。しかし、生物学を学ぶことで、ヒトをはじめ生物とは何か、より深く理解し、今までとは異なる見方ができるようになる。</p> <p>授業では、それぞれ担当の先生が伝える、授業を受けるに当たってのアドバイスを守ることが大切になる。また、当たり前だが、提出物等を必ず提出すること。</p>
--

令和4年度 「表現理科α」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科2年選択者
教科書	高等学校 新化学基礎（第一学習社） 改訂 新編物理基礎（東京書籍）	副教材等	

1 学習の到達目標

基礎的な科学の知識を身につけ、基本的な科学的概念や原理を学び、自分の言葉で現象を表現する。
また自然現象を科学の立場から理解し、実際の現象を実験をし観察することによって直に触れ、より一層の理解を深める。

2 学習の計画

月	単元名・学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	酸化還元反応 ①酸化と還元 ②酸化数と酸化還元反応 ③酸化剤・還元剤と金属のイオン化傾向	<ul style="list-style-type: none"> 酸化と還元の見方を理解する。 酸化数を学習し、酸化剤と還元剤の反応を理解する。 酸化剤と還元剤の反応と金属のイオン化傾向を理解する。 実験を通したり、理論的な推測から性質を推測する 推測したことを自分の言葉で表現し、他人の表現も聞きながら表現の仕方について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト 発表
5			
6			
7	④酸化還元反応の利用 ⑤電池 ⑥電気分解	<ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応の利用例として、製錬や電池の原理を学習する。 実験を通したり、理論的な推測から性質を推測する 推測したことを自分の言葉で表現し、他人の表現も聞きながら表現の仕方について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト 発表
9	⑦課題研究発表 (プレゼンテーション)	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた課題について、個人またはグループで調査し、発表する。 発表材料の作成を通して表現の手法について学ぶ。 発表する、発表を聞く活動を通して効果的な発表表現方法について学習する。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 発表
10			

11	物理実験レポートの書き方	・物理実験レポートの書き方について講義を聞き、レポートを通じて自分の考えを表現するための様式を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・レポート提出 ・小テスト ・発表
	重力加速度の測定実験 摩擦の測定実験	<ul style="list-style-type: none"> ・重力加速度を測定し、レポートにまとめる。 ・さまざまな摩擦を測定し、レポートにまとめる。 	
12	記述式解答の作り方	・記述式問題に対しての解答のポイントを学習し、言葉と数式で論理的に解答を示す力を身につける。	
	1編 物体の運動とエネルギーについての問題演習	・応用問題に取り組み、記述式解答を作成する。	
	授業内テスト	・記述式問題の実践テストで学習の成果を確認する。	
1	比熱の測定実験	・さまざまな金属の比熱を測定し、レポートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・レポート提出 ・小テスト ・発表
	気柱共鳴実験	・未知の音源の振動数を測定し、レポートにまとめる。	
2	共通テストに関する問題演習	・共通テストの問題に取り組む。	
	科学雑誌 Newtonの発表	・Newtonを読み、その内容をもとにプレゼンテーションを行う。	
3	2編 さまざまな物理現象とエネルギーについての問題演習	・応用問題に取り組み、記述式解答を作成する。	
	授業内テスト	・記述式問題の実践テストで学習の成果を確認する。	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

目の前の事象、教科書に載っている事象については身近な知識で説明ができたり、みなさんが学ぶ理科基礎の知識で説明できることがほとんどです。丸暗記に走らず理屈っぽく考えることを楽しめるように頑張りましょう。

令和4年度 「 表現理科β 」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	2年普通科 選択者
教科書	高等学校 改訂 新化学基礎 (第一学習社) 高等学校 改訂 生物基礎 (第一学習社)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

<p>基礎的な科学の知識を身につけ、基本的な科学的概念や原理を学び、自分の言葉で現象を表現する。 また自然現象を科学の立場から理解し、実際の現象を実験し観察することによって直に触れ、より一層の理解を深める。</p>

2 学習の計画

月	単元名・学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	酸化還元反応 ①酸化と還元 ②酸化数と酸化還元反応 ③酸化剤・還元剤と金属のイオン化 傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化と還元の見方を理解する。 ・酸化数を学習し、酸化剤と還元剤の反応を理解する。 ・酸化剤と還元剤の反応と金属のイオン化傾向を理解する。 <p>実験を通したり、理論的な推測から性質を推測する 推測したことを自分の言葉で表現し、他人の表現も聞きながら表現の仕方について学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・実験報告書 ・小テスト ・発表
5	生物の多様性とバイオーム ①バイオーム	<p>バイオームの概念を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林の階層構造を理解する。 ・光の強さと光合成速度の関係のグラフを理解する。 ・陽生植物、陰生植物の光合成速度の特徴を理解する。 ・植生は不変ではなく、長期的には移り変わっていることを理解する。 	
6	バイオームの形成過程 ①植生の成り立ち ②さまざまな植生 ③植生の遷移	<ul style="list-style-type: none"> ・気温と降水量の違いによってさまざまなバイオームが成立していることを理解する。 ・世界のバイオームの種類と分布を理解する。 ・日本におけるバイオームの水平分布と垂直分布を理解し、各バイオームの特徴的な植物種を理解する。 	
7	バイオームとその分布 ①気候とバイオーム ②世界のバイオーム ③日本のバイオーム		
9	酸化還元反応 ④酸化還元反応の利用 ⑤電池 ⑥電気分解	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化還元反応の利用例として、製錬や電池の原理を学習する。 <p>実験を通したり、理論的な推測から性質を推測する 推測したことを自分の言葉で表現し、他人の表現も聞きながら表現の仕方について学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・実験報告書 ・小テスト ・発表
10	生命の起源と生物の変遷 ①生命の起源 ②地球環境の変化と真核生物の誕生 ③生物の変遷 ④人類の変遷	<p>進化のしくみを学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球上の生物相がどのように変化してきたのかを学ぶ。 	
11	進化 ①生物の個体間の変異とその起源 ②遺伝子頻度とその変化のしくみ 生物の系統 ①種分化 ②生物の系統と系統関係の推定	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の起源と生物進化の道筋を学ぶ。 	
12	③生物の世界の3ドメイン	<ul style="list-style-type: none"> ・生物はその系統に基づいて分類できること、そして代表的な分類群の特徴について学ぶ。 ・(実習) 調べ学習と発表。 	

1	課題研究発表 (プレゼンテーション)	・与えられた課題について、個人またはグループで調査し、発表する。 発表資料の作成を通して表現の手法について学ぶ。 発表する、発表を聞く活動を通して効果的な発表表現方法について学習する。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト ・発表
2			
3			

3 評価の観点

関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

目の前の事象、教科書に載っている事象については身近な知識で説明ができたり、みなさんが学ぶ理科基礎の知識で説明できることがほとんどです。丸暗記に走らず理屈っぽく考えることを楽しめるように頑張りましょう。
--

令和4年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「 体育 」

単位数	3	学科・学年・学級	普通科 2年1~7組 国際人文科 2年8組
教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)	副教材	

1. 学習の到達目標

<p>①お互いに助け合いながら、学習に主体的に取り組める。</p> <p>②自己や仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択をし、挑戦する課題を設定することができる。</p> <p>③記録や技に挑戦して、新たな得意技や高度の攻防などの動きを高めることができる。</p> <p>④運動の課題解決の方法について理解できる。</p>
--

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	体育理論 球技	二学年次 2. 運動やスポーツの効果的な学習の仕方① サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの技術と技能 ・運動やスポーツの技能の上達過程 ・ボールを使ったウォーミングアップ (ワンバウンドさせてのリフティング・ドリブル・サッカーテニス) ・基本的な個人技術 (ドリブル、キック、パス) ・対人練習 (1対1、ボールをゴールに見立てての1対1、4対1) ・ゴールを使つての対人練習 (1対1、1対2、2対1、2対2) ・試合(審判法を学ぶ) ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論新聞 ・行動観察 ・スキルテスト ・行動観察 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード分析
6 7	器械運動	器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟性を高める下位動作 ・基本的な技① ・基本的な技② ・発表に向けての練習 ・ミニ発表会 ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・学習カード分析 ・スキルテスト ・ワークシート分析 ・スキルテスト ・学習カード分析
9 10 11	体育理論 体づくり運動 球技 球技	二学年次 2. 運動やスポーツの効果的な学習の仕方② 長縄 テニス バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの技能と体力の関係 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方 ・試しの長縄跳び ・長縄のポイントの理解 ・長時間跳ぶ ・クラスの課題発見 ・目標を設定する ・体力の限界に挑戦する ・ラリーによるウォーミングアップ ・基本的な個人技術 (サービス、ストローク、実践練習 (シングルス、ダブルス)) ・戦術およびルール・審判法について学ぶ ・試合 (リーグ戦の運営について話し合う) ・学習の振り返り ・ボールを使ったウォーミングアップ ・個人技術 (パス、ドリブル、シュート) ・対人練習 (2対2、3対3) ・作戦についての話し合い ・試合 ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論新聞 ・行動観察 ・学習カード分析 ・行動観察 ・学習カード分析 ・学習カード分析 ・スキルテスト ・行動観察 ・スキルテスト ・行動観察 ・学習カード分析 ・学習カード分析 ・行動観察 ・学習カード分析 ・スキルテスト ・学習カード分析 ・スキルテスト ・学習カード分析

1	陸上競技	競走（長距離走）	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動 ・ペース走 ・時間走 ・タイムトライアル 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・記録計測 ・記録計測 ・記録計測
2			<ul style="list-style-type: none"> ・距離走 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察
3			<ul style="list-style-type: none"> ・整理運動、ストレッチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	自らの健康・安全を確保し、学習に自主的に取り組もうとしている。
思考・判断	自己の課題に応じ、運動の行い方の改善すべきポイント見つけて適切な練習方法を選ぼうとしている。
運動の技能	中学時代に身につけた技能や動きをより高め、運動の特性に応じた、種目特有の技能を身につけることができる。
知識・理解	技術の名称や行い方、体力の高め方について言ったり書いたりしている。

4. 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断、運動の技能及び知識理解の4観点から総合的に評価する。

5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

- ①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。
- ②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。
- ③時間を守り集合・整列してください。
- ④自ら学ぶことが上達のポイントです。積極的に体を動かしましょう。

令和4年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「体育」

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年1～7組 国際人文科 2年8組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	

1. 学習の到達目標

<p>①お互いに助け合いながら、学習に主体的に取り組める。</p> <p>②自己や仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択をし、挑戦する課題を設定することができる。</p> <p>③記録や技に挑戦して、新たな得意技や高度の攻防などの動きを高めることができる。</p> <p>④運動の課題解決の方法について理解できる。</p>
--

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	体育理論	2. 運動やスポーツの効果的な学習の仕方①	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの技術と技能 ・運動やスポーツの技能の上達過程 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論新聞
5	球技	サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを使ったウォーミングアップ（リフティング・サッカーテニス） ・個人技術（パス、ドリブル、シュート） ・対人練習（2対2、3対2、3対3） ・守備の戦術についての話し合い ・試合（審判法を学ぶ） ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析 ・学習カード分析 ・スキルテスト ・学習カード分析
6	球技	バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを使ったウォーミングアップ ・基本的な個人技術（パス、ドリブル、シュート） ・対人練習（1対1、2対2、3対3） ・攻撃の戦術についての話し合い ・試合（ルールを学ぶ） ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析 ・学習カード分析 ・記録計測 ・学習カード分析
9	体育理論	2. 運動やスポーツの効果的な学習の仕方②	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの技能と体力の関係 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論新聞
	体づくり運動	長縄	<ul style="list-style-type: none"> ・試しの長縄跳び ・長縄のポイントの理解 ・長時間跳ぶ ・クラスの課題発見 ・目標を設定する ・体力の限界に挑戦する 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・学習カード分析 ・行動観察 ・学習カード分析 ・学習カード分析 ・スキルテスト
10	器械運動	マット運動	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟性を高める下位動作 ・基本的な技① ・基本的な技② ・発表に向けての練習 ・ミニ発表会 ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・学習カード分析 ・スキルテスト ・ワークシート分析 ・スキルテスト ・学習カード分析

11	球技	ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボール ・トスバッティング ・守備練習（シートノック） ・打撃練習（実践打撃） ・試合（審判法を学ぶ） ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析 ・学習カード分析 ・スキルテスト ・学習カード分析
1	陸上競技	競走（長距離走）	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察
2			<ul style="list-style-type: none"> ・ペース走 ・時間走 ・タイムトライアル ・距離走 ・整理運動、ストレッチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・行動観察 ・スキルテスト ・スキルテスト ・学習カード分析

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	自らの健康・安全を確保し、学習に自主的に取り組もうとしている。
思考・判断	自己の課題に応じ、運動の行い方の改善すべきポイント見つけて適切な練習方法を選ぼうとしている。
運動の技能	中学時代に身につけた技能や動きをより高め、運動の特性に応じた、種目特有の技能を身につけることができる。
知識・理解	技術の名称や行い方、体力の高め方について言ったり書いたりしている。

4. 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断、運動の技能及び知識理解の4観点から総合的に評価する。

5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。</p> <p>②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。</p> <p>③時間を守り集合・整列してください。</p> <p>④自ら学ぶことが上達のポイントです。積極的に体を動かしましょう。</p>

令和4年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「武道」

単位数	1単位	学科・学年・学級	普通科 2年1～7組 国際人文科 2年8組
教科書	現代高等保健体育（大修館）	副教材	

1. 学習の到達目標

<p>①お互いに助け合いながら、学習に主体的に取り組める。</p> <p>②自己や仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択をし、挑戦する課題を設定することができる。</p> <p>③記録や技に挑戦して、新たな得意技や高度の攻防などの動きを高めることができる。</p> <p>④運動の課題解決の方法について理解できる。</p>
--

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
4	体育理論	2. 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 ①	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの技術と技能 ・運動やスポーツの技能の上達過程 	・体育理論新聞	
5	武道	剣道	<ul style="list-style-type: none"> ・竹刀点検・1年次の復習 	行動観察	
<ul style="list-style-type: none"> ・仕掛け技の工夫 ・応じ技の工夫 			行動観察 行動観察		
<ul style="list-style-type: none"> ・連続技の創作 ・地稽古 ・判定式簡易試合 			スキルテスト 行動観察 学習カード		
6	武道	柔道	<ul style="list-style-type: none"> ・基本動作（立ち技） 	行動観察	
<ul style="list-style-type: none"> ・補助運動（柔軟運動・補強運動） 			行動観察		
<ul style="list-style-type: none"> ・立ち技の基本（足技・腰技・手技） ・立ち技の応用（足技・腰技・手技） ・約束練習（立ち技） ・学習の振り返り 			スキルテスト スキルテスト 行動観察 学習カード		
7	6	7	9	10	11
9	体育理論	2. 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 ②	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの技能と体力の関係 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方 	・体育理論新聞	
10	体づくり運動	長縄	<ul style="list-style-type: none"> ・試しの長縄跳び ・長縄のポイントの理解 ・長時間跳ぶ ・クラスの課題発見 ・目標を設定する ・体力の限界に挑戦する 	行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 記録計測	
11	武道	剣道	<ul style="list-style-type: none"> ・有効打突の基準 ・試合法・審判法 ・個人戦①（全体指導） ・得意技の開発 	行動観察 学習カード 行動観察 行動観察	

12		柔道	<ul style="list-style-type: none"> ・地稽古 ・個人戦②（自主運営） ・得意技（立ち技）を身に付ける。 ・連続技（立ち技から立ち技） ・変化技（相手の技から自分の技） ・自由練習（立ち技） ・連続技（立ち技から固め技） ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> スキルテスト 行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 スキルテスト 学習カード
1	武道	剣道	<ul style="list-style-type: none"> ・班別稽古の運営の仕方 ・基本打突の教えあい ・団体戦①（全体指導） ・戦術の教えあい ・団体戦②（リーグ戦） ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 スキルテスト 学習カード
2		柔道	<ul style="list-style-type: none"> ・自由練習（立ち技と固め技） ・試合 ・審判法 ・見取り稽古 ・試合係員 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 スキルテスト 行動観察 学習カード 行動観察
3			<ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カード

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	自らの健康・安全を確保し、学習に自主的に取り組もうとしている。
思考・判断	自己の課題に応じ、運動の行い方の改善すべきポイント見つけて適切な練習方法を選ぼうとしている。
運動の技能	中学時代に身につけた技能や動きをより高め、運動の特性に応じた、種目特有の技能を身につけることができる。
知識・理解	技術の名称や行い方、体力の高め方について言ったり書いたりしている。

4. 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断、運動の技能及び知識理解の4観点から総合的に評価する。

5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。 ②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。 ③時間を守り集合・整列してください。 ④自ら学ぶことが上達のポイントです。積極的に体を動かしましょう。
--

令和4年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「保健」

単位数	1	学科・学年・学級	普通科 2年1～7組 国際人文科 2年8組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

1. 学習の到達目標

- ①テーマについて関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができる。
 ②課題解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表すことができる。
 ③テーマについての基礎的な事項を理解できる。

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	生涯を通じる健康	思春期と健康	思春期における心身の変化、および健康課題について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		性意識と性行動の選択	性意識の男女差、性に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		結婚生活と健康	心身の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		妊娠・出産と健康	妊娠・出産の過程における健康課題、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解し、説明することができる。	行動観察 小テスト
5	生涯を通じる健康	家族計画と人工妊娠中絶	家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について理解し、説明することができる。	行動観察 小テスト
		加齢と健康	加齢にともなう心身の変化、中高年期を健やかに過ごすための個人でできる取り組みについて理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		高齢者のための社会的取り組み	高齢者の健康課題とその社会的な支援、すべての人が健康で安全に暮らすための社会的取り組みについて理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
7	生涯を通じる健康	生涯にわたる健康づくり	自分や家族の生涯にわたる健康課題と健康づくりについて理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
9	生涯を通じる健康	保健制度とその活用	保健行政の役割、保健サービスや保健情報の活用について理解し、説明することができる。	行動観察 小テスト
		医療制度とその活用	医療制度と医療保険のしくみ、医療機関の役割と医療サービスの活用について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		医薬品と健康	医薬品の種類と正しい使用法、医薬品の安全性を守る取り組みについて理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		さまざまな保健活動や対策	健康づくりのためのさまざまな活動、民間機関や国際機関などの保健活動について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
10	生涯を通じる健康	医師や医療機関について考えてみよう	自分の生活圏における医師、医療機関について具体的に考え、話し合う。	行動観察 ワークシート分析
11	社会生活と健康	大気汚染と健康	大気汚染の原因とその健康影響、大気にかかわる地球規模の環境問題について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		水質汚濁、土壌汚染と健康	水質汚濁の原因とその健康影響、土壌汚染の原因とその健康影響、大気汚染・水質汚濁・土壌汚染のかかりについて理解し、説明することができる。	行動観察 小テスト
		健康被害の防止と環境対策	環境汚染を防ぐための取り組み、産業廃棄物の処理と健康問題について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
12	社会生活と健康	過去の公害から学ぶ環境問題	過去の公害の事例から環境問題について考えてみる。	行動観察 小テスト
		環境衛生活動のしくみと働き	ごみの処理の現状とその課題、上下水道の整備とし尿の処理について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析

1	社会生活と健康	食品衛生活動のしくみと働き	食品の安全性について理解し、行政、生産・製造者による衛生管理について説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
2		食品と環境の保健と私たち	食品表示、食品の安全性の情報、食中毒の防止対策、環境の保健について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		働くことと健康	働くことの意義や健康とのかかわり、働き方と健康問題の変化について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
3		労働災害と健康	労働災害および、労働災害を防ぐための安全管理と健康管理のしくみについて理解し、説明することができる。	行動観察 小テスト
		健康的な職業生活	職場がおこなう健康増進対策、余暇の意義と活用のしかたについて理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	テーマについて関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。
思考・判断	課題解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。
知識・理解	テーマについての基礎的な事項を理解している。

4. 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断、及び知識理解の3観点から総合的に評価する。

5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に着けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>①授業中の板書事項だけでなく、左ページについても回答し、日常的にノート整理に努めてください。</p> <p>②ノートは各学期末に提出します。</p> <p>③日頃から健康や安全に関心を持ち、生涯を通じる健康を目指しましょう。</p>

令和4年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「 専攻実技 」

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年1～7組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	

1. 学習の到達目標

<p>①選択した種目に関しての総合的な理解を通じて、生涯にわたって「する・みる・支える・調べる」等の多様な関わり方について考察しながら専門種目の振興発展に寄与できる資質や能力を育てる。</p> <p>②生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、取り組みを工夫することができる。</p> <p>③1年間を通じて選択した種目に関してより高度な技術、戦術、体力、精神力に関して理論と実習を通して学習し、競技力の向上や健康の保持増進の実践力を育成する。</p>
--

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	選択した種目に取り組む。	オリエンテーション		・行動観察
5		・選択した種目に関するコーチング学、トレーニング学等の知識や理論を学びながら実習または発表活動を行う。		・学習カード分析
6	学習の振り返り	・学習カードの記入	・学習カードを記入し、提出する。	・発表活動 ・学習カード分析
7	まとめ	・レポートの作成	・レポートを作成し、提出する。	・レポート分析
9	選択した種目に取り組む。	・選択した種目に関するコーチング学、トレーニング学等の知識や理論を学びながら実習または発表活動を行う。		・行動観察
10				・学習カード分析 ・発表活動
11	学習の振り返り	・学習カードの記入	・学習カードを記入し、提出する。	・学習カード分析
12	まとめ	・レポートの作成	・レポートを作成し、提出する。	・レポート分析
1	選択した種目に取り組む。	・選択した種目に関するコーチング学、トレーニング学等の知識や理論を学びながら実習または発表活動を行う。		・行動観察
2				・学習カード分析 ・発表活動
3	学習の振り返り まとめ	・学習カードの記入 ・レポートの作成	・学習カードを記入し、提出する。 ・レポートを作成し、提出する。	・学習カード分析 ・レポート分析

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	自らの健康・安全を確保し、学習に自主的に取り組もうとしている。
思考・判断	自己の課題に応じ、運動の行い方の改善すべきポイント見つけて適切な練習方法を選ぼうとしている。
運動の技能	中学時代に身につけた技能や動きをより高め、運動の特性に応じた、種目特有の技能を身につけることができる。
知識・理解	技術の名称や行い方、体力の高め方について言ったり書いたりしている。

4. 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断、運動の技能及び知識理解の4観点から総合的に評価する。

5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。</p> <p>②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。</p> <p>③時間を守り集合・整列してください。</p> <p>④「専攻実技」の意味を考え、「体育」とは異なる視点で授業に参画しましょう。</p>
--

令和3年度 芸術科 音楽Ⅱ シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年次 1～7組 国際人文科 2年次 8組
教科書	高校生の音楽2 (教育芸術社)	副教材等	

1 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。音楽への感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。音楽の諸活動を通して、音楽文化についての理解を深める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1 学 期	① 音楽に親しみ、その良さを味わって、表現しよう ② 楽器を使って表現しよう ③ 楽典 ④ ソルフェージュ ⑤ 鑑賞	【歌唱】 ・ 男声、女声合唱アンサンブル ・ 浜千鳥 ・ 早春賦 ・ 女心の歌 他 【器楽】 キーボード 「キラキラ星」 「リベル・タンゴ」 【鑑賞】 ・ ヴァイオリン協奏曲ホ短調から第1楽章 他	・ 歌詞の内容に関心をもち、歌唱曲のよさに触れる。 ・ 曲の構成などを理解し、楽曲の持つ雰囲気を感じて表現する。 ・ 発声などを含め、個性豊かに自分なりに表現する。 ・ 読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。 ・ さまざまな楽器に取り組み、基本的な奏法を身につける。 ・ 仲間と協調し合って音楽を作り上げる。 ・ 楽器の基本的な奏法を理解して演奏する。 ・ 楽器の響きや楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。 ・ 曲想に応じて表現する技能を身に付ける。 ・ 楽曲の構成とアンサンブルとの関係に気づいて鑑賞する。 ・ 楽曲や楽器の特徴を感じ取り、表現の豊かさを感じ取る。 ・ 音階やリズムについての理解を深める。	・ 行動観察 ・ 学習プリント ・ 実技試験
2 学 期	① 声の響きを意識して、豊かに表現しよう ② 楽器の響きを感じとって表現しよう ③ 楽典 ④ ソルフェージュ ⑤ 鑑賞	【歌唱】 ・ 「Shall We Dance?」 ・ 「雨にぬれても」 ・ アヴェヴェルム コルプス 他 【器楽】 ギターアンサンブル 「スタンド・バイ・ミー」 【鑑賞】 ・ オペラ 「カルメン」 「フィガロの結婚」	・ 歌詞の内容に関心をもち、歌唱曲のよさに触れる。 ・ 曲の構成などを理解し、楽曲の持つ雰囲気を感じて表現する。 ・ 声や楽器の響きを感じ取り、表現を行う。 ・ 発声などを含め、個性豊かに自分なりに表現する。 ・ 読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。 ・ さまざまな楽器に取り組み、基本的な奏法を身につける。 ・ 仲間と協調し合って音楽を作り上げる。 ・ 楽器の基本的な奏法を理解して演奏する。 ・ 楽器の響きや楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。 ・ 曲想に応じて表現する技能を身に付けている。 ・ 楽曲の構成とアンサンブルとの関係に気づいて鑑賞する。 ・ 楽曲の持つ特徴やの良さ感じ取る。 ・ 曲の個性や雰囲気を作り上げている音楽の諸要素を理解して鑑賞を行う。 ・ 楽曲の構成など、音楽の諸要素が、どのような働きをしているか聞き取る。 ・ 作曲家やその作品の背景について興味や関心を高め、意欲的に調べ、発表する事ができる。 ・ 音階やリズムについての理解を深める。	・ 行動観察 ・ 学習プリント ・ 実技試験

3 学 期	② 歌唱曲に親しみ、そのよさを味わって、表現しよう ③ アンサンブルの響きを味わって表現しよう ④ 和楽器の響きを感じ取ろう ⑤ 楽典 ⑥ ソルフェージュ ⑦ 鑑賞	【歌唱】 ・ 合唱曲 【器楽】 ・ 三味線、長唄実技講習 ・ トーンチャイム ・ 篠笛 【個人課題】 ・ 表現課題（歌唱または器楽） 【鑑賞】 ・ 三味線 ・ 長唄	・ 歌詞の内容に関心を持ち、歌唱曲のよさに触れる。 ・ 曲の構成などを理解し、楽曲の持つ雰囲気を感じて表現する。 ・ 発声などを含め、個性豊かに自分なりに表現する。 ・ 読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。 ・ さまざまな楽器に取り組み、基本的な奏法を身につける。 ・ 互いに協調し合って音楽を作り上げようとしている。 ・ 楽器の響きや楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。 ・ 楽器の基本的な奏法を理解して演奏する。 ・ 曲想に応じて表現する技能を身に付けている。 ・ 楽曲の構成とアンサンブルとの関係に気づいて鑑賞する。 ・ 音階やリズムについての理解を深める。 ・ 作曲家の歴史やその作品についての興味や関心を高める。 ・ 表現の基礎的な技能を身に付け、豊かに表現している。 ・ 自ら進んで取り組み、模範の演奏等を参考にしながら良い演奏ができるように取り組もうとしている。 ・ 演奏の響きを感じ取って、それに合った表現を工夫している。 ・ 互いの演奏を聞き、今後の演奏に生かそうとして鑑賞している。	・ 行動観察 ・ 学習プリント ・ 実技試験
-------------	---	--	--	------------------------------

3 評価の観点

音楽への 関心・意欲・態度	音楽を愛好し、音楽文化に関心を持ち、個性豊かに意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。
音楽表現の創意 工夫	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに創造的な音楽活動の工夫をする。
音楽表現の技能	自己のイメージをもち、個性豊かに創造的な表現をするための技能を身に付けている。
鑑賞の能力	音楽文化に対する理解を深め、そのよさや美しさを主体的に味わう。

4 評価の方法

【 関心・意欲・態度 】 【 音楽表現の創意工夫 】 【 音楽表現の技能 】 【 鑑賞の能力 】 の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の諸活動に意欲を持って取り組み、より豊かな表現を心がけて取り組んでください。 ・ 好みや苦手意識に捉われることなく、音楽の諸活動に取り組んでください。 ・ 繰り返しの活動が音楽の力を高めます。より良い表現を目指して粘り強く取り組んでください。 ・ 実技テストではお互いの演奏を鑑賞し、自らの表現のヒントにしてください。
--

令和4年度 芸術「美術Ⅱ」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年1,2,4,5,6組 国際人文科 2年8組
教科書	美術2（光村図書出版）	副教材等	

1 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	オリエンテーション		・美術の授業を受けるにあたっての心構えをする。	ワークシート
	レリーフ彫刻	・彫刻 ・鑑賞	・1年次に制作したレリーフ彫刻の細部を彫り、オイルで仕上げる。 ・お互いの作品を鑑賞し、よさや美しさを味わう。	制作途中の作品、 完成作品 ワークシート
5	アニメーション	・映像メディア表現 ・鑑賞	・アニメーションの手法を学ぶ。 ・自分の内面や自然、社会などを深く見つけ、アニメーションの特性を生かした作品のテーマを生み出す。 ・アニメーションの効果を考えながら、全体の構想を練る。 ・動きを確認しながら、アニメーションをつくる。 ・お互いの作品を鑑賞し、よさや美しさを味わう。	ワークシート 制作途中の作品、 完成作品
6				
7				
8				
9	自己をみつめて	・絵画 ・鑑賞	・さまざまな自画像を鑑賞し、よさや美しさを感じ取る。 ・自己の内面に目を向け、作品のテーマを生み出す。 ・テーマに合った表現形式を選択し、表現の構想を練る。 ・表現方法を工夫し創造的に表現するよう心がけ、絵具を用いて、自画像を描く。 ・お互いの作品を鑑賞し、よさや美しさを味わう。	制作途中の作品、 完成作品 ワークシート
10				
11				
12				
1	土鈴をつくろう	・立体デザイン ・鑑賞	・土鈴の機能や大きさの条件を基に土鈴をデザインする。 ・粘土の特性を生かしながら、塑造の技法で成形する。 ・土の風合いを生かしながら彩色する。 ・お互いの作品を鑑賞し、よさや美しさを味わう。	制作途中の作品、 完成作品 ワークシート
2				
3				
	・まとめ		・2年間を振り返り、学習カードに授業の振り返りを文章にまとめる。	学習カード

3 評価の観点

関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか。
創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表しているか。
鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっているか。

4 評価の方法

- ・美術への関心・意欲・態度、発想・構想の能力、創造的な技能及び鑑賞の能力の4観点から評価規準に従い、総合的に評価します。
- ・1学期間合計で100点法で評価します。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・誰にでも苦手な課題と得意な課題があるかと思います。しかし、苦手な課題でも、無理だと決めつけずに前向きに取り組みましょう。
- ・提出物の期限を必ず守りましょう。個々の作業スピードや公欠等により、授業内に作品が完成できない可能性がある場合は、自分で判断して補習や持ち帰り等で完成させてください。
- ・「学習カード」を毎回記入しましょう。振り返る習慣や計画する力がつきます。

令和4年度 芸術科「工芸Ⅱ」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年 1 2 3 4 5組 国際人文科 2年 8組
教科書	工芸Ⅱ（日本文教出版）	副教材等	

1 学習の到達目標

工芸の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
4	オリエンテーション 染める 【藍染め】	1 鑑賞「藍染め」	<ul style="list-style-type: none"> ・「工芸Ⅱ」学習の意義や内容を確認し、1年間の授業内容及び評価の方法を理解する。 ・伝統的な染織の技法を知り、生活の中で作品が持つ意味を学習する。 	ワークシート	
5		2 デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの意味や方法を学び、作品ができる過程を理解する。 	行動観察 作品途中経過 2, 3, 4, 6 それぞれの完成 作品	
6		3 型紙彫り	<ul style="list-style-type: none"> ・古典的な道具を使うことにより日本の伝統的な技法の合理性と素晴らしさを学ぶ。 ・型紙の構造を考慮して、美しく使用に耐えうる型紙を彫る。 		
7		4 紗張り	<ul style="list-style-type: none"> ・漆の代わりとなる塗料と紗と呼ばれる絹の布の特徴を理解し、手早く且つ丁寧に、型紙に紗を張る。 		
		5 防染糊置き	<ul style="list-style-type: none"> ・糊の材料と特徴を理解し、出羽ヘラの傾きや力加減に細心の注意を払い、木綿の布に糊を置く。 		
		6 染色	<ul style="list-style-type: none"> ・浸す時間に気をつけ、布を常に平に保つことで糊同士が付くことを避け、斑の仲間と協力しながら慎重に染めて干す。美しい藍に染まったら、糊を洗い流して色止めする。 		
		7 水元			
			8 鑑賞		<ul style="list-style-type: none"> ・できあがった作品の持つ独特の美しさを味わう。
9	革でつくる 【革工芸】	1 鑑賞「革工芸」	<ul style="list-style-type: none"> ・牛革だからこそできる加工や工程ごとの技術を身につける。 		行動観察 作品途中経過 完成作品
10		2 基本技法による小作品制作	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の構造分類やそれに必要な技術などについて理解しながら、刻印・染色を確実に進行。 ・金具付け・縫製を確実に進行することができる。 		
		2 各自の設計による応用作品制作	<ul style="list-style-type: none"> ・上級生の作品や参考資料をよく観察し、用途と使いやすい形や大きさを的確に決定し、模型を作る。 ・作品の中でのバランスを見極めて模様を配置し、刻印棒の位置や叩く強さなどに配慮し、慎重に模様を施す。 ・染料は自然光にて色褪せやすくムラも出やすいので、濃く塗る。2色以上塗るときははみ出しに十分注意しムラなく塗る。 ・パーツが多いので、金具と道具の組み合わせや使い方を慎重に確認しながら取り付ける。 ・革は、繊維が複雑に絡み合っているため、縫う前に穴を空ける。穴を、縫い合わせる革同士ずれず、ゆがまず、適度な大きさに空ける。たるまず、縫い目を揃えて縫う。 		
		① デザイン			
		② プランニング			
11			③ 刻印 (模様細工)		行動観察 作品途中経過 完成作品
		④ 染色/床面処理			
		⑤ 金具付け			
		⑥ 縫い合わせ			

12	装飾する「シルバーリング」	3鑑賞 1鑑賞「金属」 1デザイン・サイズ測定・地金の長さ割出	<ul style="list-style-type: none"> • できあがった作品の持つ独特の美しさを味わう。 • 彫金の技法を学ぶとともに、装飾としての工芸の役割について理解する。 • スリ出しのできるものと鋳造でなければならないものの違いを理解した上で、それに応じたデザインを考え、立体的に図で表現する。作りたい形が第三者に伝わるよう表現する。 	ワークシート
1		2地金とり・断面処理	<ul style="list-style-type: none"> • 曲げた時に断面同士がピタッと合うように、角度に気を付け、断面にヤスリを掛ける。 	行動観察 作品途中経過
2		3地金曲げ	<ul style="list-style-type: none"> • ヤットコと芯出し棒、木槌を用いて、2で平らにした断面を隙間なく合わせる。 	
3		4ロウ付け(溶接)	<ul style="list-style-type: none"> • ガスバーナーの扱いに十分注意しながら、銀ロウ付けをする。 	完成作品 ワークシート
		5成形	<ul style="list-style-type: none"> • 各自のデザイン通りになるよう、糸鋸・鑪で成形する。 	
		6鑪掛け	<ul style="list-style-type: none"> • 棒ヤスリ→紙ヤスリ(荒→細)→クリームクレンザーと、段階を追って研磨する。無駄な傷を見つけ、前の工程に戻って磨きなすなど、妥協を許さないで加工する。 	
		7研磨	<ul style="list-style-type: none"> • 店頭においてある商品の様に美しい光沢が出るように目指す。 	
		8鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> • 指輪ケースに作品をいれ、お互いの作品の良さを認め合いながら鑑賞する。 	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	工芸の創造活動の喜びを味わい、身近な生活及び社会における工芸や工芸の伝統と文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、身近な生活や社会的な視点から創造的で心豊かな発想をし、よさや美しさなどを考え、心豊かな制作の構想を練っている。
創造的な技能	創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身に付け、表現方法を創意工夫して創造的に表している。
鑑賞の能力	工芸作品などの表現の工夫や心豊かな生き方に関わる工芸の働き、工芸の伝統と文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。

4 評価の方法

工芸への関心・意欲・態度、発想・構想の能力、創造的な技能及び鑑賞の能力の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

毎時間の作業を大切に、時間毎の目標を指示しますから、その流れに遅れないよう気をつけて取り組んでください。完成しない物は作品として成り立ちません。取り組んだ作業に関しては一切妥協せずよりよい物を目指して頑張ってください。完成の喜びは何物にも代え難い達成感があります。

令和四年度 芸術科「書道Ⅱ」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年 1 2 3 5 7組 国際人文科 2年 8組
教科書	書Ⅱ (教育図書)	副教材等	

1 学習の到達目標

書道の創造的な書活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	オリエンテーション		<ul style="list-style-type: none"> 「書道Ⅱ」学習の意義や内容を確認し、1年間の授業内容及び評価の方法を理解する。 	ワークシート
5	漢字の書の学習	篆書の古典 <ul style="list-style-type: none"> ・石鼓文 ・金文 ・甲骨文 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書体の変遷について学ぶ。 ・篆書特有の運筆法の基本を理解する。 ・篆書古典の臨書学習により、基本的な点画の線質の表し方、用筆法・運筆法、結体と構成法について学ぶ。 ・古典の表現法を理解し、その特徴を時代背景を通して鑑賞し、臨書する。 	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品
6	創作の学習	自分の名前を篆書で書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻の準備として印篆を学ぶ。 	ワークシート 作品途中経過 完成作品
7	漢字の書の学習	篆刻 <ul style="list-style-type: none"> ・姓名印を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・書の中の篆刻の位置づけと意味を理解する。 ・創作の準備と手順を知る。 ・自己の意図やねらいを達成するために、全体構成を考える。 ・用具・用材と表現の関係を考える。 ・文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現を身につける。 ・各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 	ワークシート 鑑賞
9	漢字の書の学習	隸書の古典 <ul style="list-style-type: none"> ・乙瑛碑 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書体の変遷について学ぶ。 ・隸書特有の運筆法の基本を理解する。 ・隸書古典の臨書学習により、基本的な点画の線質の表し方、用筆法・運筆法、結体と構成法について学ぶ。 ・各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代背景を通して鑑賞し、臨書する。 ・各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品
10	漢字の書の学習	草書の古典 <ul style="list-style-type: none"> ・書譜 	<ul style="list-style-type: none"> ・草書古典の臨書学習により、草書の特徴を踏まえ用筆法・運筆法を学ぶ。 ・草書古典の臨書学習により、基本的な点画の線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 ・孫過庭について学ぶ。 ・古典の表現法を理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞し、臨書する。 	ワークシート 作品途中経過 完成作品
11				
12	創作の学習		<ul style="list-style-type: none"> ・習得した技法を活かして作品を創作する。 ・各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 	完成作品 鑑賞

1	漢字仮名交じりの書の学習	意図に応じた表現	<ul style="list-style-type: none"> 漢字と仮名の調和と用筆の基本について理解する。漢字仮名交じり文の書独特の画面構成を習得する。 漢字仮名交じりの書を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める。 	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品
2		自分の表現を目標として	<ul style="list-style-type: none"> 創作の準備と手順を知る。 用具・用材と表現の関係を考える。 自己の意図やねらいを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫する。 	
3		構成を考える 表現と鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 自らの思考や感動を表現できる語句を選び、漢字仮名交じりで表現方法を工夫し、作品を制作する。 文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現を身につける。 各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう 	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしているか。
表現の構想と工夫	書の良さや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫しているか。
創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を発展させ、効果的な表現の技能を身に付け表しているか。
鑑賞の能力	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを創造的に味わっているか。

4 評価の方法

<p>書への関心・意欲・態度、書表現の構想と工夫、創造的な書表現の技能、鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。清書だけでなく毎時の錬成過程も評価する。定期考査を実施せずかつ実技教科であるため、毎時の錬成結果と提出物を点数に置き換え、それに授業態度等を加味して評価する。</p>

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>毎時間の練習を大切に、一枚一枚真剣に取り組んでください。課題により目標が異なるので、その時間の目標をしっかり把握しましょう。よりよい物を目指して頑張ってください。完成の喜びは何物にも代え難い達成感があります。</p>

令和3年度 芸術科 表現音楽 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年次 1～7組
教科書	高校生の音楽1 (教育芸術社)	副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽通論 (教育芸術社) ・コールユープンゲン (全音楽譜出版社)

1 学習の到達目標

音楽表現に必要な基礎的な音楽理論について理解を深めるとともに、時代ごとの音楽の特徴について理解し、創造的に表現する能力を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1 学期	①専攻実技 ②ソルフェージュ ③音楽通論 ④鑑賞・音楽史	【専攻実技】 ・ エチュード 【ソルフェージュ】 ・ コールユープンゲン ・ 新曲視唱 ・ 聴音(旋律・リズム) 【音楽通論】 ・ 音の長さ、高さ ・ 記号 ・ 音程 【鑑賞・音楽史】 ・ 中世の音楽 ・ ルネサンスの音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に楽曲の理解を深め、意欲的に表現する。 ・ 楽曲の構成要素を理解し表現する技術を身に付ける。 ・ 発声や奏法などを含め、個性豊かに表現する技能を身に付ける。 ・ 楽譜を読んでそれを音にイメージし、実際に歌唱する。 ・ 旋律や和声、リズムを聴いて楽譜を書くための技能を身に付ける。 ・ 基礎的な音楽理論について理解を深める。 ・ 様々な時代の音楽を鑑賞し、その特徴を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動観察 ・ 学習プリント ・ 実技試験
2 学期	①専攻実技 ②ソルフェージュ ③音楽通論 ④鑑賞・音楽史	【専攻実技】 ・ エチュード ・ 任意の楽曲 【ソルフェージュ】 ・ コールユープンゲン ・ 新曲視唱 ・ 聴音(旋律・リズム) 【音楽通論】 ・ 音階 ・ 和音 【鑑賞・音楽史】 ・ バロック音楽 ・ 古典派の音楽 ・ ロマン派の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に楽曲の理解を深め、意欲的に表現する。 ・ 楽曲の構成要素を理解し表現する技術を身に付ける。 ・ 発声や奏法などを含め、個性豊かに表現する技能を身に付ける。 ・ 楽譜を読んでそれを音にイメージし、実際に歌唱する。 ・ 旋律や和声、リズムを聴いて楽譜を書くための技能を身に付ける。 ・ 基礎的な音楽理論について理解を深める。 ・ 様々な時代の音楽を鑑賞し、その特徴を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動観察 ・ 学習プリント ・ 実技試験
3 学期	①個人課題発表	【専攻実技】 ・ 任意の楽曲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲の構成などを理解し表現を工夫する。 ・ 楽曲の雰囲気を感じ取って、表現を工夫する。 ・ 任意の楽曲に計画を立てて取り組み、表現の場とする。 ・ 豊かに表現できるように楽曲を理解する。 ・ 自ら進んで活動に取り組み、模範演奏等を参考にしながら良い演奏ができるように取り組む。 ・ 声や楽器の音色を工夫して演奏する。 ・ 互いの演奏を聞き、今後の演奏に生かせるように鑑賞を行う。 ・ 互いの演奏を聞きその楽曲について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動観察 ・ 学習プリント ・ 実技試験

3 評価の観点

関心・意欲・態度	音楽を愛好し、音楽文化に関心を持ち、個性豊かに意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。
芸術的な感受や表現の工夫	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに創造的な音楽活動の工夫をする。
創造的な表現の技能	自己のイメージをもち、個性豊かに創造的な表現をするための技能を身に付けている。
鑑賞の能力	音楽文化に対する理解を深め、そのよさや美しさを主体的に味わう。

4 評価の方法

【 関心・意欲・態度 】【 芸術的な感受や表現の工夫 】【 創造的な表現の技能 】【 鑑賞の能力】の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・ 授業の諸活動に意欲を持って取り組み、より豊かな表現を心がけて取り組んでください。
- ・ 好みや苦手意識に捉われることなく、音楽の諸活動に取り組んでください。
- ・ 繰り返しの活動が音楽の力を高めます。より良い表現を目指して粘り強く取り組んでください。
- ・ 実技テストではお互いの演奏を鑑賞し、自らの表現のヒントにしてください。

令和4年度 「コミュニケーション英語II」 シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	普通科 2年 1～7 組
教科書	LANDMARK Fit II (啓林館)	副教材等	DateBase4500 (桐原書店) Focus on Listening Basic (EMILE) Jet Reading Level 1 (数研出版) 総合英語 Evergreen (いっずな書店)

1 学習の到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

2 学習の計画

月	CAN-DO	学習内容	学習内容の説明
4 5 6 7	聞く	○帯活動(ウォームアップ) ○読んだ文の概要把握	○効果的に会話を続ける練習 ○文を読んで初見で大まかに内容をとらえる
	読む	○読んだ文の要約	○与えられたキーワードを見ながら要約を口頭で伝え、それを書く
	やりとり	○読んだ文の感想の発表 ○パフォーマンステスト	○グループワークで感想を口頭で伝えあう ○インタビュー、発表等
	発表 書く	○リーディングテスト ○ライティングテスト ○リスニングテスト	○初見の文を含んだ考査2回 ○授業中のエッセイライティング ○授業中のリスニング問題
9 10 11 12 1 2 3	聞く	○帯活動 (ウォームアップ) ○読んだ文の概要把握	○効果的に会話を続ける練習 ○文を読んでキーワードを自分で取り出す
	読む	○読んだ文の要約	○取り出したキーワードを見ながら要約を口頭で伝え、それを書く
	やりとり	○読んだ文を踏まえたディスカッション ○パフォーマンステスト	○グループで意見を述べ合う ○インタビュー、発表等
	発表 書く	○リーディングテスト ○ライティングテスト ○リスニングテスト	○初見の文を含んだ考査3回 ○授業中のエッセイライティング ○授業中のリスニング問題

3 評価の観点及び方法

評価の場面	コミュニケーション への 関心・意欲・態度	外国語表現の能力 (話すこと・ 書くこと)	外国語理解の能力 (読むこと・ 聞くこと)	言語や文化に ついての 知識・理解	割合
定期考査		5	20	20	45
パフォーマンステスト		25			25
リスニングテスト			10		10
小テスト				10	10
授業内観察等	10				10
割合	10	30	30	30	100

4 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- 1 昨年度に引き続き、和訳はしません。英語を英語のまま理解する練習をしましょう。その際、全てを細かく理解しようとするのではなく、大意、概要をつかむようにしましょう。また、わからない表現と出会った時に、文脈や状況、背景知識などから意味を推測する練習をしましょう。
- 2 文法や語彙はコミュニケーションを支えるために必要です。どういう場面で用いるのかを意識して練習しましょう。授業で扱う単元の語彙・文法はもちろん、それ以外でも単語帳や文法の参考書を用いて知識を身につけてください。
- 3 授業には必ず辞書を持ってきましょう。わからない語句は自分で調べ、語彙を増やす努力をしましょう。
- 4 コミュニケーションを円滑に進めるためには、自分の思いや意見を相手に伝えることが必要です。まずは自分の意見を持ち、相手を理解する姿勢で臨みましょう。
- 5 音読はできるだけたくさんしましょう。授業でできる時間は限られていますので、家庭でも毎日練習しましょう。

令和4年度 「論理表現α」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年
教科書	Revised Vision Quest English Expression I Standard (Keirinkan)	副教材等	

1 学習の到達目標

日常的な話題、社会的な話題について必要な情報や考えなどを英語で話したり言ったりし、それらを相互的に伝え合うことができる。

2. 学習の計画

月	CAN-DO	学習内容	学習内容の説明	
4 5 6 7	話す	自分の身近な話題であれば、簡単な表現を使い相手に伝えることができる。	○既習表現を使って日常生活について表現する	
	発表	簡単な語彙や表現で自分の伝えたいことを全体に理解してもらうことができる。	○該当の文法項目の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝える	
	やりとり	フォーマットがあれば、聞いたり読んだりしたことについて友達と感想を言い合うことができる。	○意見を文章で効果的に伝える ○パラグラフライティング	
	書く	50 語程度の自己紹介を書くことができる。書面で個人的な具体的情報を求めたり伝えることができる。	○ライティングテスト (授業内) ○パフォーマンステスト ○プレゼンテーションで効果的に自分の意見を伝える ○小テスト	
9 10 11 12 1 2 3	話す	キーワードを見ながら、自分や友人、身の回りについての短いスピーチができる。	○既習表現を使って日常生活について表現する	
	発表	ジェスチャーやプレゼンテーションを通じて自分の伝えたいことを相手に理解させることができる。	○該当の文法項目の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝える	
	やりとり	直接必要なこと、もしくはごく身近な話題についての簡単なことを、自分から言ったり、相手の言ったことに反応したりできる。	○意見を文章で効果的に伝える ○パラグラフライティング	
	書く	教科書の内容やそれに関連する記述について、1部パラフレーズしながら、概要を書いたり、辞書を使いながら感想を書いたりすることができる。	○ライティングテスト (授業内) ○パフォーマンステスト ○プレゼンテーションで効果的に自分の意見を伝える ○小テスト	
			○パフォーマンステスト	
			○文法テスト	○小テスト

3 評価の観点及び方法

評価の場面	コミュニケーション への 関心・意欲・態度	外国語表現の能力 (話すこと・ 書くこと)	外国語理解の能力 (読むこと・ 聞くこと)	言語や文化に ついての 知識・理解	割合
パフォーマンステスト		30 話すこと			30
小テスト				30	30
エッセイライティング		20 書くこと			20
課題		10 書くこと			10
授業内観察	10				10
割合	10	60		30	100

4 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- 1 課題は提出するためではなく、自分の力をつけるために取り組んでください。授業でわからないことを聞けるよう準備してきましょう。
- 2 英語は技能教科です。英語の勉強ではなく、練習をしましょう。読む練習・聞く練習・話す練習・書く練習。
- 3 文法はコミュニケーションを支えるために必要です。どういう場面で用いるのかを意識して練習しましょう。参考書「Evergreen」を授業に持参してください。
- 4 定期考査はありません。小テストやパフォーマンステストがとても重要になってくるので真剣に取り組むこと。
- 5 自分の意見をしっかりと持ちましょう。論理的で明確な話し方、書き方を学びます。

令和4年度 家庭科「家庭基礎」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 2年 1.2.3.4.5.6.7.8組
教科書	家庭基礎ともに生きる・持続可能な未来を作る (第一学習社)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

<p>人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、住まいに関する知識と技術を総合的に習得させる。 家庭や地域の生活課題を主体的に解決する判断力を養い、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。 未来へ向かってよりよく生きるための生活の知恵や工夫を体験的な学習活動を交えて学ぶ。</p>
--

2 学習の計画

月	単元名	学習項目 *実習	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	<u>1章 これからの生き方と家族</u> 1節 青年期を生きる 2節 家族・家庭と社会とのかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の課題 ・家族とは家庭とは ・家族に関する法律 *家系図の作成 	<p>家族の意義について考え、さまざまな家族・家庭があることを理解し、人の一生と家族のかかわりについて考えます。生涯発達についても考えます。</p>	<p>行動観察 授業プリント</p>
5	<u>2章 次世代を育む</u> 1節 子どもの発達 2節 親の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心身の発達 ・子どもと遊び ・子育て支援と地域社会 *子どものおやつ 	<p>子どもの特徴や発達過程を学び、男女で子育てにかかわる重要性を理解させるとともに子どもを育てる責任についても考えます。</p>	<p>行動観察 授業プリント</p>
6	3節 子育て支援と福祉	<ul style="list-style-type: none"> *子どものおやつ 	<p>子育てにかかわる社会的サポートの必要性と現状、今後の課題について考えます。</p>	<p>実習レポート</p>
7	<u>3章 充実した生涯へ</u> 1節 高齢期を生きる 2節 高齢社会を支え合う <u>4章 ともに生きる</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を知る ・高齢社会の現状と課題 ・高齢者や家族の支援システム ・社会保障制度と福祉 *高齢者疑似体験 *ユニバーサルデザイン <p style="text-align: center;">期末考査</p>	<p>高齢社会の現状と課題を正しく理解し、高齢者の心身の特徴や介護の必要性について学びます。介護保険制度やサービス等の内容を知り、家庭生活を支える社会福祉の重要性を学びます。</p>	<p>行動観察 授業プリント</p>
9	<u>5章 食べる</u> 1節 人の人生と食事 2節 栄養と食品 3節 食生活の安全のために 4節 食生活をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の安全と衛生 ・人体と栄養 ・栄養バランスのよい食事 ・調理の基本 *調理実験（廃棄率） ・食べることと健康 ・食品の選択と保存 *調理実験（糖度実験） ・栄養素の種類と性質 ・食生活をとりまく環境の変化 	<p>食品の選択、食品添加物、食品の表示と保存について学習します。</p> <p>栄養・食品の知識、調理に関する基礎的な知識と技術を身に付けます。</p> <p>栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を学習します。</p> <p>自分の食生活の実態、現代の食生活を取り巻く環境について学習します。</p>	<p>行動観察 授業プリント 実習レポート</p>
10	<u>6章 装う</u> 1節 人の人生と被服 2節 被服材料と管理	<ul style="list-style-type: none"> ・人と衣服 ・多様な被服 ・被服の選び方 ・衣服のなりたちと着方 *製作実習（基礎縫い） ・衣服材料の種類と特徴 ・洗濯のしくみ 	<p>衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようにします。</p> <p>ミシンの基本操作、アイロンのかけ方を学習します。</p> <p>衣服の購入・洗濯・保管などについて理解し、資源・環境にも配慮した衣生活について学習します。</p>	<p>行動観察 授業プリント 実習レポート</p> <p style="text-align: center;">作品提出</p>
11				

12	7章 住まう 1節 人の人生と住まい 2節 住生活の計画と選択	<ul style="list-style-type: none"> 人の一生と住まい 平面図の活用 快適で健康な住まい <p>期末考査</p>	気候風土や生活機能に応じた住空間の構成を理解する。ライフスタイルと住まいのかかわりについて考え、住まいの安全・衛生・管理について学びます。	行動観察 授業プリント
1 2	8章 経済生活を営む 1節 私たちの暮らしと経済 2節 消費者問題を考える 3節 持続可能な社会をめざして	<ul style="list-style-type: none"> 経済生活の中身を知る 将来の経済生活を考える 消費者問題はなぜ起こるか 契約とトラブル クレジット利用のリスク 消費者の自立 <p>*消費生活センター講座</p>	家庭の収入や支出の構造を理解し、経済生活の設計と管理について学びます。 消費行動において重要である契約の意味をはじめ、多様な販売方法や支払い方法、若者が狙われやすい悪徳商法の対策方法について学びます。	行動観察 授業プリント
	9章 生活をデザインしよう	<ul style="list-style-type: none"> これからの生活を考える <p>*ライフプランシート作成</p>	ライフイベントに必要なお金について知り、生活設計について考え、リスクに対して準備をしていく必要性について学びます。	提出物
3	10章 生活の充実・向上を目指して ホームプロジェクト	<p>学年末考査</p>	自分や身の回りの生活課題を見つけ、どのように改善することができるか考えを深めます。	提出物

3 評価の観点

関心・意欲・態度	様々な人々と協同し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を身につけることができたか。
思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につけることができたか。
技能	生活を営むために必要な、家族・家庭、衣食住、消費や環境などに関わる技能を実践的・体験的な学習活動を通して身につけることができたか。
知識・理解	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を身につけることができたか。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
定期考査、授業中に使ったプリント、実習作品、提出物の内容、及び学習活動への参加の仕方や態度をもとに、総合的に評価します。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

休まずに授業に参加することはもちろん、提出物は期限内に完成させて提出すること。
実習中は怪我をしないよう注意を払い、真剣且つ慎重に取り組むこと。
家庭科では、生活者として自分はどうか行動すべきかといった意志決定について授業を通して学んでいきます。
授業中は集中して取り組むこと。作品や提出物が授業内に終わらなければ、昼休みや放課後に取り組んでもらいます。
考査は1学期末、2学期末、学年末の3回です。

令和4年度 言語活用「言語活用α」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年選択者
使用教科書	高等学校標準国語総合（第一学習社） 現代社会（東京書籍）	副教材等	教科担当者作成プリント

1 学習の到達目標

言語活動を通じて、自ら課題を発見し解決する力、コミュニケーション能力、物事を多様な観点から考察する力、様々な情報を取捨選択できる力を養い、社会生活において円滑に活用できるようにする。

2 学習の計画

月	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	社会人としての在り方、人間としての生き方について関心を持つ ・「表現」を通して自己を見つめよう。	以下の学習活動を通して、正確に読み、論理的に考え、的確に表現する練習を繰り返し、思考を整理する型を身につける。 ・問答ゲーム ・感想を述べる ・正しい表現、適切な表現の練習 ・「新書」を読む	・行動の観察（ルーブリック評価） ・発表、課題レポートの確認
6 7	社会的事象に対して自己の考えを持つ ・社会の出来事を様々な視点で見つめ、考え、意見交換しよう。	「表現の型」を身につける練習を繰り返して身につける。 ・新しいニュースを知る ・意見を述べる ・「考え方」の練習 ・「問題点」を見つける ・「反論」してみる	・行動の観察（ルーブリック評価） ・発表、課題レポートの確認
9 10	現代を取り巻く環境を自分の言葉で把握する ・現代社会を広い視野から考察してテーマを決め、ディベートする準備をしよう。	以下の学習活動を通して、班単位でディベートの準備をする。 ・ディベートのテーマ探し ・発表内容を決める ・評論文を読み、要約する ・討論の仕方、注意事項の理解 ・資料を集め、分析する練習 ・賛成、反対の理由探し練習	・行動の観察（ルーブリック評価） ・発表、課題レポートの確認
11 12	社会の課題の共有と、そのために必要な事項を理解する ・意見を述べ、聞き、質問し、常に主体的であるよう練習しよう。	ディベートを行う中で、以下について意識づけられるよう 反復練習する ・説得力ある発表の仕方 ・聞かせる技術、話させる技術 ・話を聞き、要約する技術 ・効率よい共同作業のあり方 ・相互評価のあり方 ・個人の新たな研究課題の発見	・行動の観察（ルーブリック評価） ・発表の確認

1	総合演習 ・1年間の学習内容を復習し、主体的に学習する意欲を向上させよう。	テーマを設定してプレゼンテーションの形式で発表する活動を通して、以下の点を意識し、自力による課題の発見・解決が可能になるよう学習する。	・行動の観察（ルーブリック評価） ・発表の確認
2		・自分の関心あるテーマの設定 ・プレゼンテーションの組み立て、調査方針の立て方	
3		・図書館の活用の仕方 ・情報の扱い方 ・プレゼンテーション演習 ・相互評価の姿勢	

3 評価の観点

関心・態度	現代社会の課題を身近なものと捉え、自ら問いをたてようとするとともに他者の意見を聞き入れ、正當に批評し、共同してその解決のためにできることを見出そうとしている。
論理的な思考力と表現力	問い、答え、論証と筋道をたてて考え、それをレポートやプレゼンテーションなどの場面で適切に表現している。
多面的な思考力と表現力	自分の視点と他者の視点に違いがあることを踏まえ、他者のそれを正當に評価し、自分の考えをも発展させ、それをディベートなどの場面に応じて適切に表現している。
課題に対する理解と表現	現代社会の課題やそれに関連する情報を的確に把握し、レポートやプレゼンテーションなど、求められていることに応じた形で適切に表現している。
主体的学習力	調べ学習、プレゼンテーションなどへの取り組みを充分に行っている。

4 評価の方法

「関心・態度」、「論理的な思考力と表現力」、「多面的な思考力と表現力」、「課題に対する理解と表現」、「主体的学習力」の5観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

まずは与えられた課題を一つ一つ丁寧に仕上げることです。提出するべきものは期限・方法を守って提出しましょう。苦手なこともあるでしょうが、そうした取り組みから実力は養成されます。成績評価のためだけではなく、自らの人間力を高めるのだという向上心を持って授業に臨んでください。

令和4年度 「日本語II」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年2組 選択
教科書	テーマ別中級から学ぶ日本語 三訂版（研究社）	副教材等	新完全マスター文法 日本語能力試験 N 2 (スリーエーネットワーク)

1 学習の到達目標

日常身近に体験する出来事や社会的な話題について、自分の感想や考えが理由とともに説明できる。
異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って情報や意見の交換ができる。

2. 学習の計画

月	CAN-DO	学習内容	学習内容の説明
4 5 6 7	聞く 標準的な話し方のテレビドラマや映画を見て、だいたい理解できる。	○帯活動 ○読んだ文の概要把握	○漢字、文法、ゲームなど ○文を読んで初見で大まかに内容をとらえる
	読む 商品のパンフレットを見て、知りたいことがわかる。(商品の特徴など)	○読んだ文の口頭要約 ○読んだ文の筆記要約	○キーワードを見ながら要約を口頭で伝える ○要約文を書く
	話す よく知っている場所の道順や乗り換えについて説明することができる。	○読んだ文の感想の発表 ○発表、スピーチ ○作文	○感想を口頭で伝えあう ○インタビュー、発表等 ○授業中の作文
	書く 理由を述べながら、自分の意見を書くことができる。	○聴解テスト ○読解テスト ○漢字テスト ○文法テスト	○考査2回 ○初見の文による考査2回 ○毎週 ○毎週
9 10 11 12 1 2 3	聞く 身近で日常的な話題についての話し合いで、話の流れが理解できる。	○帯活動 ○読んだ文の概要把握	○漢字、文法、ゲームなど ○文を読んで初見で大まかに内容をとらえる
	読む 旅行のガイドブックや、進学・就職の情報誌を読んで、必要な情報がとれる。	○読んだ文の口頭要約 ○読んだ文の筆記要約	○キーワードを見ながら要約を口頭で伝える ○要約文を書く
	話す 準備をしていれば、自分のよく知っている話題についてプレゼンテーションができる。	○読んだ文の感想の発表 ○発表、スピーチ ○作文	○感想を口頭で伝えあう ○インタビュー、発表等 ○授業中の作文
	書く 最近読んだ本や見た映画の だいたいのストーリーを書くことができる。	○聴解テスト ○読解テスト ○漢字テスト ○文法テスト	○考査3回 ○初見の文による考査3回 ○毎週 ○毎週

3 評価の観点及び方法

評価の観点及び評価の方法	評価の場面	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	日本語表現の能力(話すこと・書くこと)	日本語理解の能力(読むこと・聞くこと)	言語や文化についての知識・理解	割合
	①定期考査(5回)		○10	○30	○20	60
	②発表		○10			10
	③作文		○10			10
	④漢字テスト				○5	5
	⑤文法テスト				○5	5
	⑥授業内観察	○5				5
	⑦提出物	○5				5
	割合	10	30	30	30	100

4 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

毎日復習を行い、提出物は期限厳守で提出してください。

授業で使う日本語に慣れ、使えるようになることを目標にして、積極的に勉強してください。